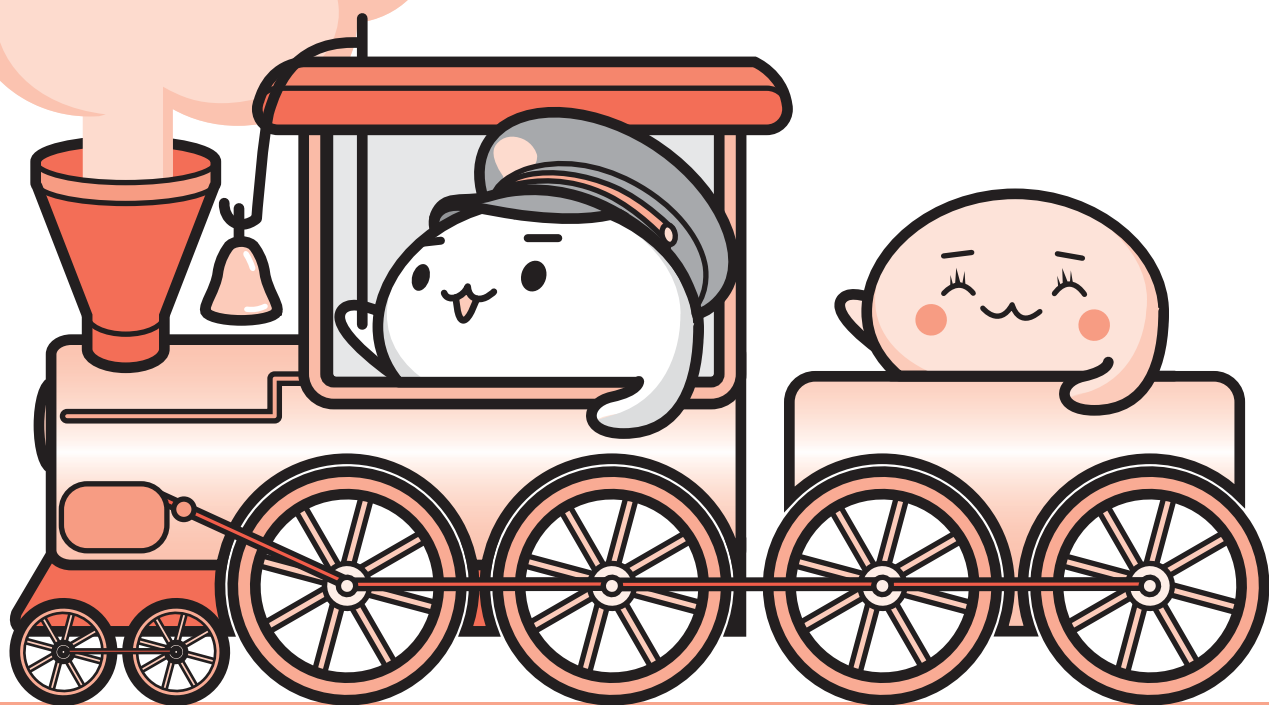


# dynabookガイド

1章 本製品の準備	11
2章 インターネットを快適に利用するために	53
3章 周辺機器を使って機能を広げよう	57
4章 買ったときの状態に戻すには —初期化—	63
5章 困ったときは	73





# マニュアルの使いかた

## 安心してお使いいただくために

- 本製品をお取り扱いいただくための注意事項  
ご使用前に必ずお読みください。

## dynabookガイド（本書）

- 本製品の準備
- 電源の入れかた／切りかた
- インターネットを使うには
- 初期化
- 廃棄／譲渡  
など
- 各部の名前
- Androidのセットアップ
- バッテリーパックの交換
- Q&A集（電源が入らないとき）

## オンラインマニュアル

本製品が起動しているときに本製品の画面上で見えるマニュアルです。

- 本製品の基本操作
- ネットワーク機能
- 周辺機器の接続
- バッテリーで使う方法
- アプリケーション／ウィジェット／設定
- 本製品の動作がおかしいとき／Q&A集  
など

# もくじ

《オンラインマニュアル》もあわせてご覧ください。

参照▶「1章 7 画面で見るマニュアル」

マニュアルの使いかた.....	1
もくじ.....	2
はじめに.....	5

## 1章 本製品の準備..... 11

<b>1</b> 使う前に確認する.....	12
<b>2</b> 各部の名称 —外観図—.....	14
<b>1</b> 前面図.....	14
<b>2</b> 背面図.....	15
<b>3</b> 裏面図.....	16
<b>3</b> ポインターを動かす／文字キーを使う —タッチパッドとキーボード—.....	17
<b>1</b> タッチパッドで操作する.....	17
<b>2</b> キーボードの文字キーの使いかた.....	20
<b>4</b> 本製品を使えるようにする.....	21
<b>1</b> セットアップ.....	21
<b>5</b> 本製品の電源について.....	32
<b>1</b> サスペンド.....	33
<b>2</b> 電源を切る.....	34
<b>3</b> 電源を入れる.....	35
<b>6</b> dynabook を使おう.....	37
<b>1</b> 本製品の画面.....	37
<b>2</b> 本製品の基本操作.....	40
<b>3</b> 文字を入力するには.....	44
<b>7</b> 画面で見るマニュアル.....	51


## 2章 インターネットを快適に利用するために..... 53

- 1 インターネットを使うには ..... 54
  - 1 使用するまでの流れ ..... 54
  - 2 インターネットへの接続方法 ..... 55
  - 3 インターネットをより安全に楽しむために ..... 55

## 3章 周辺機器を使って機能を広げよう ..... 57

- 1 周辺機器を使う前に ..... 58
- 2 バッテリーについて ..... 59
  - 1 バッテリー充電量を確認する ..... 59
  - 2 バッテリーパックを交換する ..... 60

## 4章 買ったときの状態に戻すには -初期化- ..... 6

- 1 バックアップをとる ..... 64
- 2 初期化とは ..... 65
  - 1 初期化をする前に確認すること ..... 66
  - 2 初期化の流れ ..... 67
  - 3 初期化をはじめる前にしておくこと ..... 68
- 3 初期化をする ..... 69
  - 1 いくつかある初期化方法 ..... 69
  - 2 [データの初期化] を実行する ..... 70
  - 3  キーを押しながら電源スイッチを押して実行する ..... 71
- 4 初期化をしたあとは ..... 72
  - 1 バックアップしておいたデータを復元する ..... 72

## 5章 困ったときは ..... 73

<b>1</b>	トラブルを解消するまでの流れ .....	74
<b>1</b>	トラブルの原因をつき止めよう .....	74
<b>2</b>	トラブル対処法 .....	78
<b>2</b>	Q&A集 .....	79
<b>1</b>	電源を入れるとき／切るとき .....	81
<b>2</b>	画面／表示 .....	83
<b>3</b>	プラットフォーム／内蔵フラッシュメモリ .....	84
<b>4</b>	キーボード .....	85
<b>5</b>	タッチパッド／マウス .....	85
<b>6</b>	メッセージ .....	87
<b>7</b>	その他 .....	87
<b>3</b>	捨てるとき／人に譲るとき .....	89
<b>4</b>	お問い合わせ先 - プラットフォーム／アプリケーション- ...	91
<b>1</b>	プラットフォームのお問い合わせ先 .....	91
<b>2</b>	アプリケーションのお問い合わせ先 .....	92

## 付録 ..... 93

<b>1</b>	ご使用にあたってのお願い .....	94
<b>2</b>	技術基準適合について .....	97
<b>3</b>	無線LANについて .....	99
<b>4</b>	Bluetoothについて .....	108
<b>5</b>	外形寸法図 .....	115
	さくいん .....	116
	初期化チェックシート .....	120

# はじめに








本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。

必ずお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

## 1 記号の意味

 <b>危険</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 <b>警告</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 <b>注意</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 <b>お願い</b>	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 <b>メモ</b>	知っていると便利な内容を示します。
 <b>役立つ操作集</b>	知っていると役に立つ操作を示します。
 <b>参照</b>	このマニュアルやほかのマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「 」 ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『 』 オンラインマニュアルへの参照の場合…〈 〉 オンラインマニュアルにはさまざまな情報が記載されています。

\*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

\*2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

\*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

## 2 用語について

本書では、次のように定義します。

### アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

### AndroidまたはAndroid 2.1

Android™ version 2.1 を示します。

### 無線LANモデル

無線LAN機能を搭載しているモデルを示します。

### Bluetoothモデル



Bluetooth機能を搭載しているモデルを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名、仕様については、『dynabook \*\*\*\*（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

## 3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「\*\*\*\*モデルの場合」や「\*\*\*\*シリーズのみ」などのように注記します。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールされているバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのぼすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。画面の表示と異なる場合がありますが、読み換えてご使用ください。

## 4 Trademarks

- Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- NVIDIA、NVIDIA ロゴ、Tegra、Tegra ロゴ、Powered by NVIDIA ロゴは、米国NVIDIA Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SD ロゴは商標です。（）
- SDHC ロゴは商標です。（）
- Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- HDMI および High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。
- FSKARENは、富士ソフトの登録商標です。
- デ辞蔵はイースト株式会社の登録商標です。
- 「IPA フォント」は、IPAの登録商標です。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

## 5 プロセッサ (CPU) に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ (CPU) の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- ACアダプターを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト (たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト) を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合  
目安として、標高1,000メートル (3,280フィート) 以上をお考えください。
- 目安として、気温5~30℃ (高所の場合25℃) の範囲を超えるような外気温の状態では本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。

これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

## 6 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製 (データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

## 7 お願い

- 本製品のプラットフォーム、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- 本製品のプラットフォーム、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品に内蔵されている画像は、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- 本製品はセキュリティ対策のための画面ロックの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。  
セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザー使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。初期化を行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書』は、記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

**参照** ▶ 詳細について《オンラインマニュアル》

## 8 環境依存文字について

フォルダー名などに環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。

ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が「?」などのように正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。

また、アプリケーション上でファイルの編集集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。

このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。

SDメモリーカードやUSBフラッシュメモリなどの記録メディアにデータを書き込むときは、環境依存文字が含まれていないことをあらかじめ確認してから作業を行ってください。

## 9 H.264/AVC, VC-1 and MPEG-4 ライセンスについて

本製品は、AVC、VC-1、MPEG-4 VISUAL 規格特許ライセンスのもとで、個人的利用および非商業利用目的に限り、お客様が以下のいずれか、または両方の使用を行なうことが許諾されています。(i) AVC、VC-1、MPEG-4 VISUAL 標準規格に従いビデオをエンコードすること（以下「AVCビデオ」、「VC-1ビデオ」、「MPEG-4ビデオ」という）、(ii) 個人的、非商業的行為においてお客様によりエンコードされた、または／およびAVCビデオ、VC-1ビデオ、MPEG-4ビデオを提供するためにMPEG LAからライセンスを受けたビデオ提供者から取得した、AVCビデオ、VC-1ビデオ、MPEG-4ビデオをデコードすること。他の使用についてはライセンスを許諾されていません。上記以外の販売、社内利用および商業的利用等利用／許諾に関する情報については、MPEG LAのHP (<http://www.mpegla.com>) より入手頂けます。

### ● H.264/AVC, VC-1 and MPEG-4 License Notice

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC, THE VC-1 AND MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i)ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE ABOVE STANDARDS ("VIDEO") AND/OR (ii)DECODING AVC, VC-1AND MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE SUCH VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE <http://www.mpegla.com>

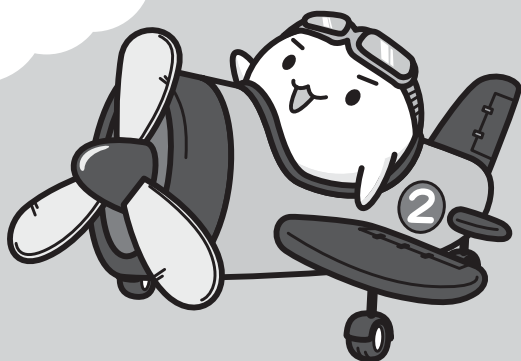


# 1 章

## ■ 本製品の準備

この章では、本製品の置き場所、セットアップ、電源の切りかた／入れかたなど、お買い上げいただいてから実際に使い始めるまでの準備と、本体各部の名前や基本的な使いかたについて説明しています。また、本製品にご用意しているマニュアルについて説明しています。

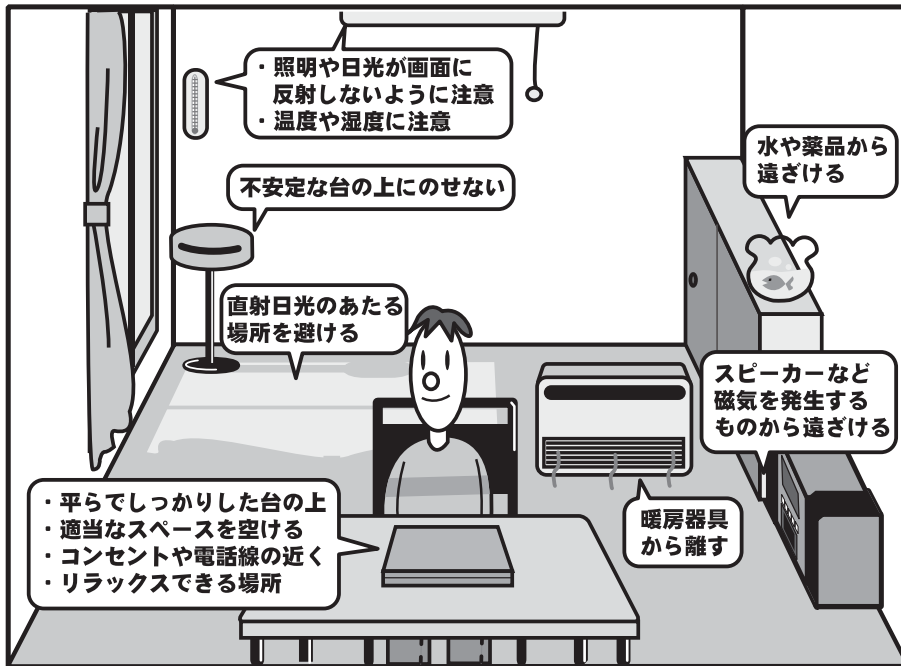
1 使う前に確認する .....	12
2 各部の名称 -外觀図- .....	14
3 ポインターを動かす／文字キーを使う -タッチパッドとキーボード- .....	17
4 本製品を使えるようにする .....	21
5 本製品の電源について.....	32
6 dynabook を使おう .....	37
7 画面で見るマニュアル.....	51





## 3 最適な場所で使う

人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、本製品にも最適な環境です。



次の点に注意して置き場所、使う場所を決めてください。

- 安定した場所に置きましょう。  
不安定な場所に置くと、本製品が落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やけがにつながります。
- 温度や湿度が高いところは避けましょう。  
暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。
- 強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。  
磁石はもちろん、スピーカー、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気ブレスレットなども本製品を使用するときははずすようにしましょう。
- 照明や日光があたる位置も考慮しましょう。  
照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見づらくなります。
- ラジオやテレビの近くで使用しないでください。  
ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。
- 無線通信装置から離してください。  
携帯電話も無線通信装置の一種です。

# 2

## 各部の名称

### —外観図—

#### 1章

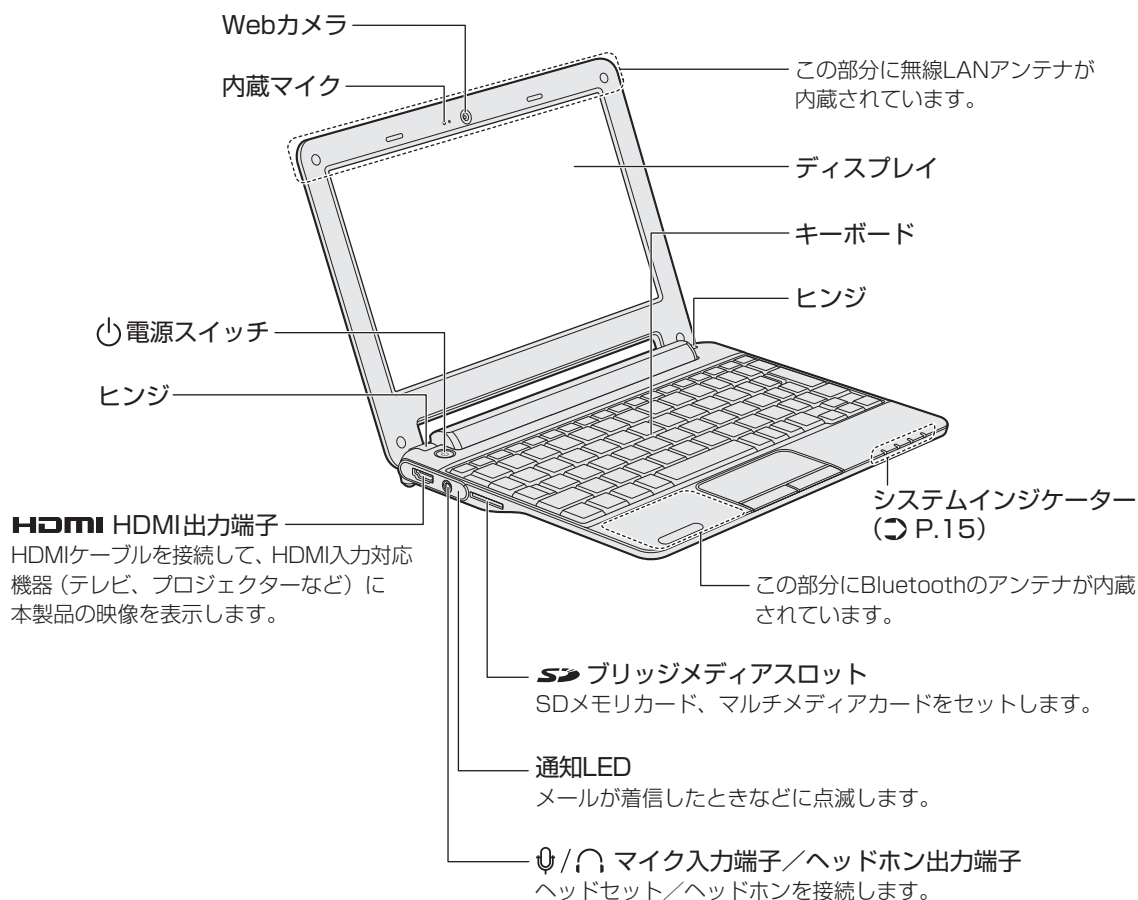
#### 本製品の準備

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。  
それぞれについての詳しい説明は、各参照ページや《オンラインマニュアル》を確認してください。

#### お願い 外観図について

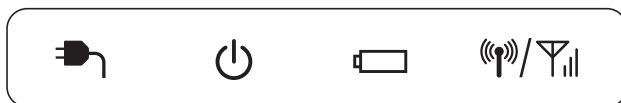
- 本製品に表示されている、コネクタ、LED、スイッチのマーク（アイコン）、およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成を想定した設計となっています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。ご購入のモデルの仕様については、『dynabook \* \* \* \*（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

### 1 前面図



## 1 システムインジケータ

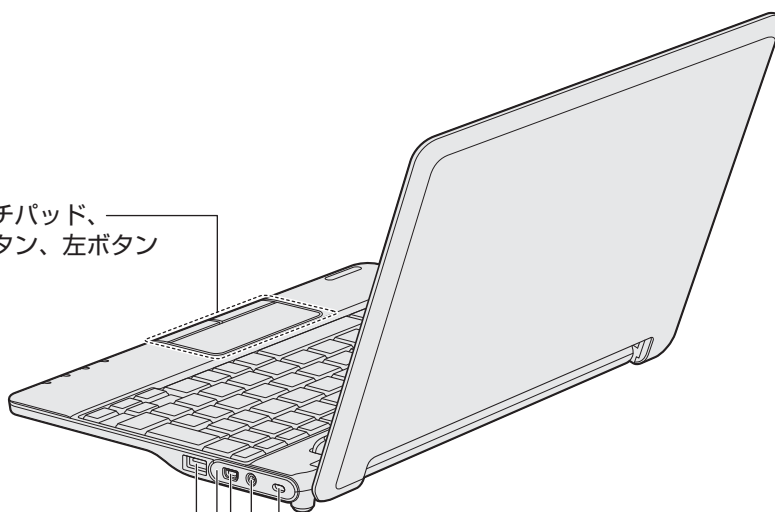
システムインジケータは、点灯状態によって、本製品がどのような動作をしているのかを知ることができます。



	DC IN LED	電源コード接続の状態 <b>参照</b> ▶ P.36
	Power LED	電源の状態 <b>参照</b> ▶ P.36
	Battery LED	バッテリーの状態 <b>参照</b> ▶ P.59
	ワイヤレスコミュニケーションLED	無線通信機能の状態 <b>参照</b> ▶ 《オンラインマニュアル》

## 2 背面図

タッチパッド、  
右ボタン、左ボタン



### ■ G&E セキュリティロック・スロット

盗難を抑制するためのセキュリティケーブルを接続できます。  
セキュリティケーブルは、本製品に対応しているものをご利用ください。  
詳しくは販売店などに確認してください。



### ● 電源コネクタ (▶ P.23)

### ● ミニUSBコネクタ

ミニBタイプに対応しています。  
USBケーブルを使用して本製品とパソコンを接続します。

### ● 通知LED

メールが着信したときなどに点滅します。

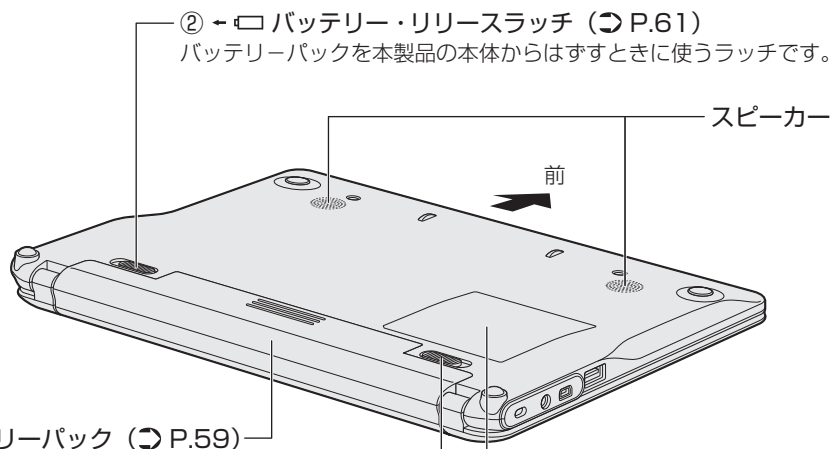
### ● USBコネクタ

USB対応機器を接続します。

### 3 裏面図

## 1 章

## 本製品の準備



バッテリーパック (➡ P.59)


① □ ⇄ □ バッテリー安全ロック (➡ P.60)  
バッテリーパックが本製品の本体からはずれないようにするためのスイッチです。

型番と製造番号  
ラベルに型番 (機種名) と製造番号が記載されています。

#### お願い 機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ、「付録 1 - 1 - 機器への強い衝撃や外圧について」を確認してください。

### 1 タッチパッドで操作する

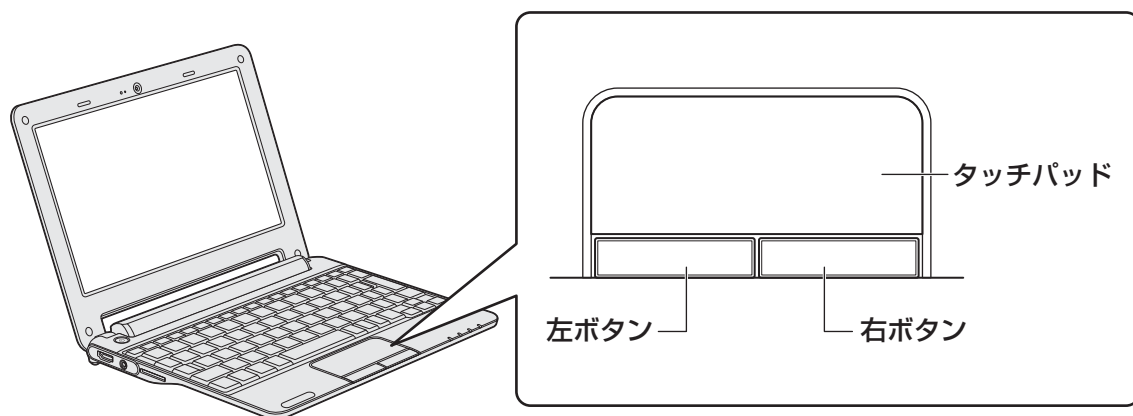
電源を入れて本製品を起動すると、本製品のディスプレイに  が表示されます。この矢印を「ポインター」といい、操作の開始位置を示しています。この「ポインター」を動かしながら本製品を操作していきます。

本製品には、「ポインター」を動かすタッチパッドと、操作の指示を与える左ボタン／右ボタンがあります。

タッチパッドと左ボタン／右ボタンを使ってポインターを動かし、本製品を操作してみましょう。ここでは、タッチパッドと左ボタン／右ボタンの基本的な機能を説明します。

#### お願い タッチパッドの操作にあたって

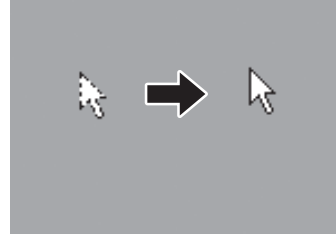
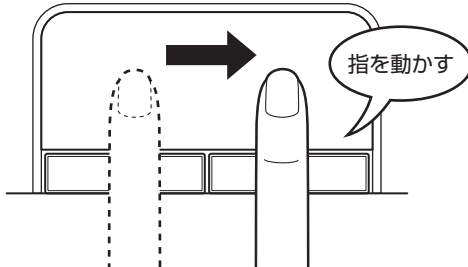
- あらかじめ、「付録 **1** - **1** - タッチパッドの操作にあたって」を確認してください。



## 1 矢印（ポインター）を動かす

操作を始める位置を示す矢印（ポインター）は、タッチパッドに置いた指の方向に合わせて動きます。指を上下左右に動かしてみましょう。

指がタッチパッドの端まできてしまい、それ以上動かせなくなったときは、いったん指をはなしてから、タッチパッドの中央に置き直して操作します。

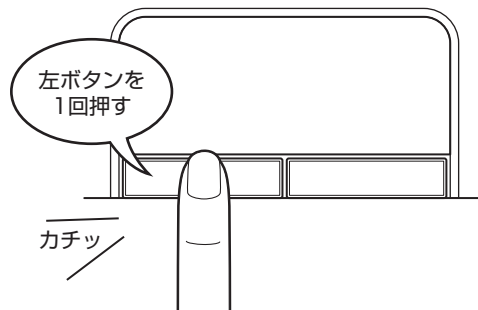


(画面)

## 2 アイコンを選択する

アイコン、文字などを選択するには、ポインターを目的のアイコンや文字などの位置に合わせて、左ボタンを1回押します（クリック）。

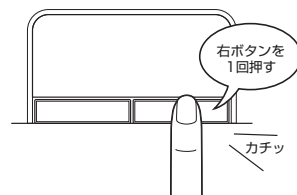
ファイルのアイコンをクリックした場合は、ファイルが開きます。アプリケーションのアイコンをクリックした場合は、アプリケーションが起動します。



 役立つ操作集

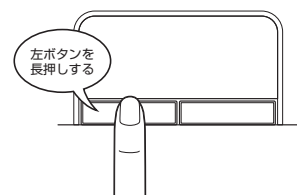
右クリックする

右クリックすると、メニューが表示され、そこから行いたいことをクリックして選択できます（右クリックが有効な場合のみ）。



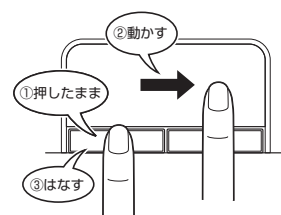
長押しする

左ボタンを1秒以上押し続けると、対象のアイコンまたは項目のサブメニューが表示され、そこから行いたいことをクリックして選択できます（サブメニューが有効な場合のみ）。



ドラッグアンドドロップする

ドラッグアンドドロップをすると、アイコンやウィンドウを移動したり、複数の文字やアイコンを選択したりできます。ポインターを目的の位置に合わせて、左ボタンを押したまま①、別の指でタッチパッドを使ってポインターを動かします②（ドラッグ）。ポインターが目的の位置に移動したら、左ボタンから指をはなします③（ドロップ）。



スクロールする

スクロールとは画面を動かすことです。

スクロールすると画面に表示しきれない部分を見ることができます。

タッチパッドの右辺に指を置いて上下に動かすと、上下にスクロールします。\*1

\* 1 アプリケーションによっては、使用できない場合があります。



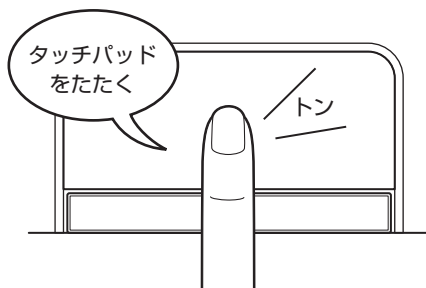
### 3 慣れてきたら

慣れてきたら、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

## 1 章

### □ クリック

タッチパッドを1回軽くたたくとクリックができます。



### 👁️ 役立つ操作集

タッチパッドを無効／有効にするには

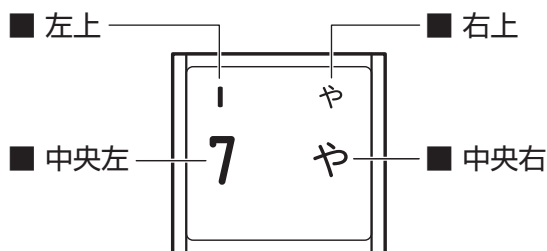
☐/👁️ キーを押すごとに、タッチパッドの無効／有効が切り替わります。

☐/👁️ キーでタッチパッドの無効／有効を切り替える場合は、タッチパッドから指をはなしてから行ってください。

☐/👁️ キーでタッチパッドの操作を有効にした瞬間、カーソルの動きが数秒不安定になることがあります。そのような場合は、1度タッチパッドから指をはなしてください。しばらくすると、正常に操作できるようになります。

## 2 キーボードの文字キーの使いかた

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。文字キーに印刷されている2～4種類の文字や記号は、キーボードの文字入力の状態によって変わります。



左上	ほかのキーは使わず、そのまま押すと、アルファベットの小文字などが入力できます。 ☐/👁️ キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの大文字が入力できます。
中央左	ほかのキーは使わず、そのまま押すと、数字や記号が入力できます。
右上	かな入力ができる状態で☐/👁️ キーを押しながら押すと、記号、ひらがなの促音 <small>そくおん</small> (小さい「っ」、拗音 <small>ようおん</small> (小さい「や、ゆ、よ」)などが入力できます。
中央右	かな入力ができる状態で押すと、ひらがなや記号が入力できます。

# 4 本製品を使えるようにする

## 1 セットアップ

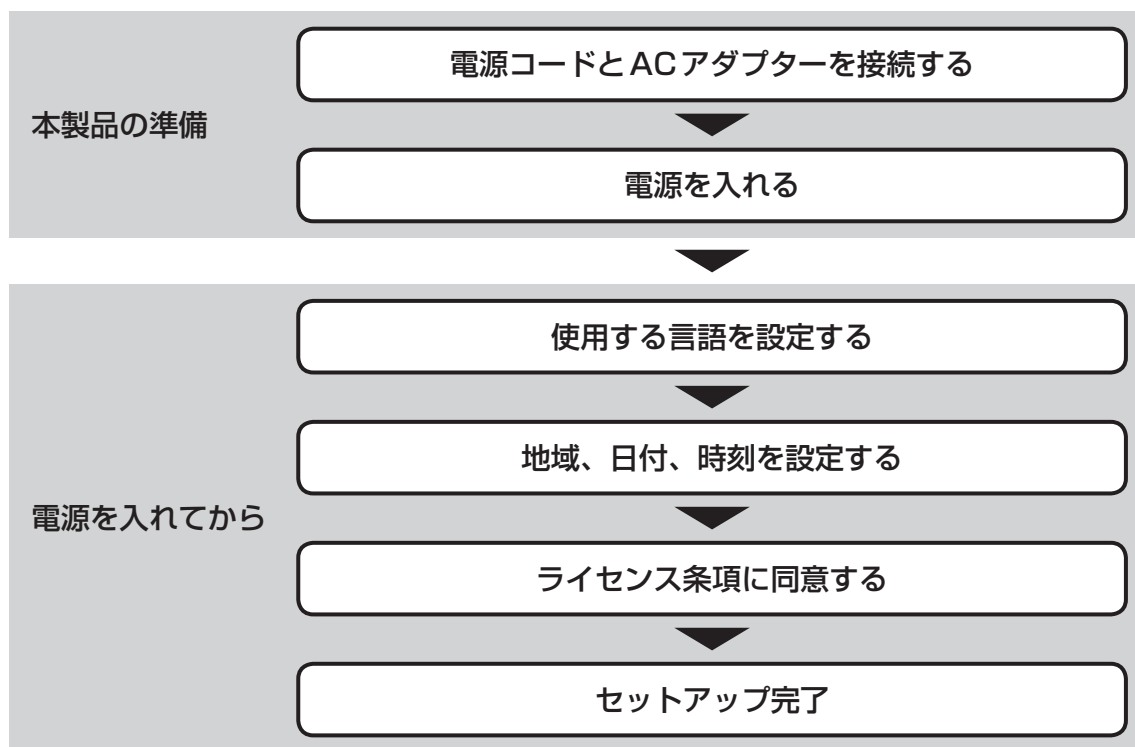
初めて電源を入れたときは、セットアップを行います。

セットアップは、本製品を使えるようにするために必要な操作です。

セットアップには約5分かかります。

作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

### 1 操作の流れ



### お願い セットアップをするときの注意

#### ■ 周辺機器は接続しないでください

- セットアップはACアダプターと電源コードのみを接続して行います。セットアップが完了するまでは、マウスやUSB対応機器などの周辺機器は接続しないでください。

#### ■ 途中で電源を切らないでください


- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

#### ■ 操作は時間をあけないでください

- セットアップ中にキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。

しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。

もう1度表示するには、**[SHIFT]**キーを押すか、タッチパッドをクリックしてください。

**[SHIFT]**キーやタッチパッドでは復帰せず、Power  LEDが点滅している場合は、電源スイッチを押してください。

## 2 電源コードとACアダプターを接続する

### 警告

- ACアダプターは本製品に付属のものを使用する

本製品付属以外のACアダプターを使用すると電圧や（+）（-）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。

- 本製品にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する

順番を守らないと、ACアダプターのDC出力プラグが帯電し、感電またはけがをする場合があります。

また、ACアダプターのプラグを本製品の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

### 注意

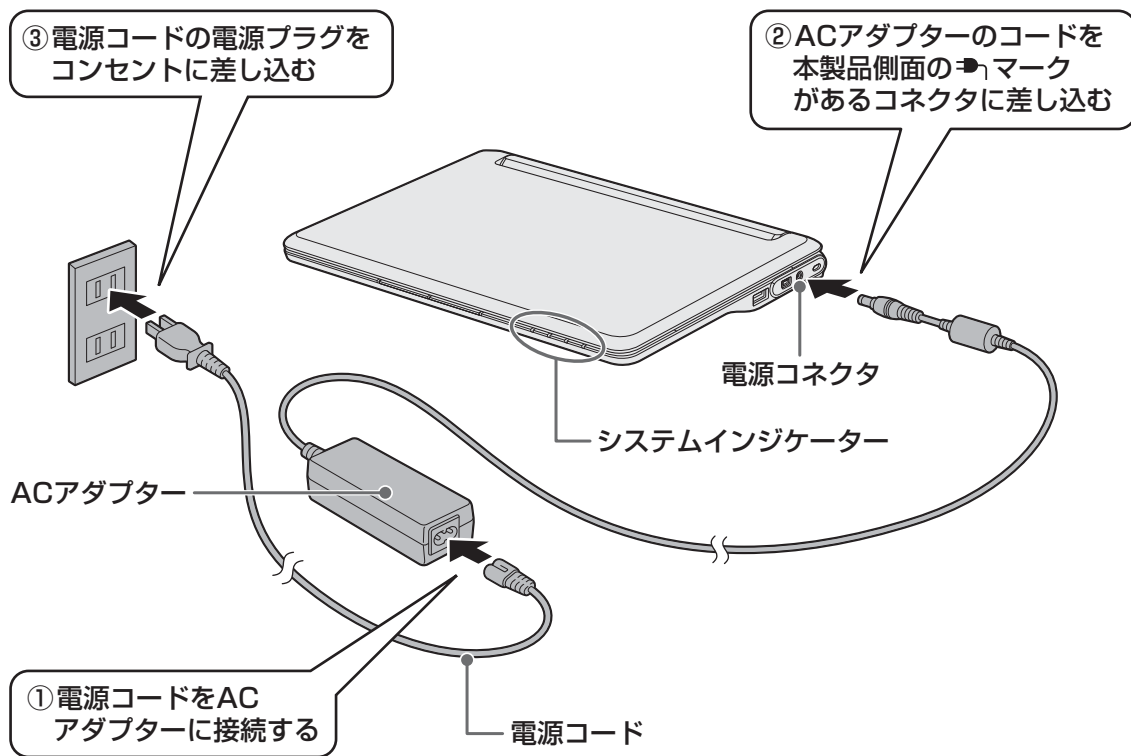
- 付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない

付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

## お願い 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- あらかじめ、「付録 1 - 2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて」を確認してください。

次の図の①→②→③の順で行ってください。



## 接続すると

システムインジケーターのDC IN LEDが点灯します。また、Battery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。Battery LEDが白色に点灯したら、充電完了です。

**参照** Battery LED「3章 2 - 1 バッテリー充電量を確認する」

## メモ

- バッテリー充電中でも本製品を使用することができます。

**参照** 詳細について「3章 2 バッテリーについて」

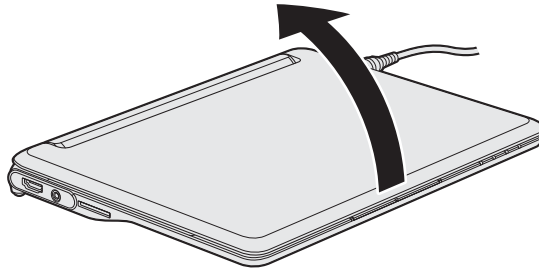
### 3 電源を入れる

**お願い** 本体液晶ディスプレイを開けるときは

- 本体液晶ディスプレイを開き過ぎるとヒンジ（手順 **2** 参照）に力がかかり、破損や故障の原因となります。ヒンジに無理な力が加わらないよう開閉角度に注意してご使用ください。

#### 1 本製品のディスプレイを開ける

ディスプレイを開閉するときは、傷や汚れがつくのを防ぐために、液晶ディスプレイ（画面）部分には触れないようにしてください。

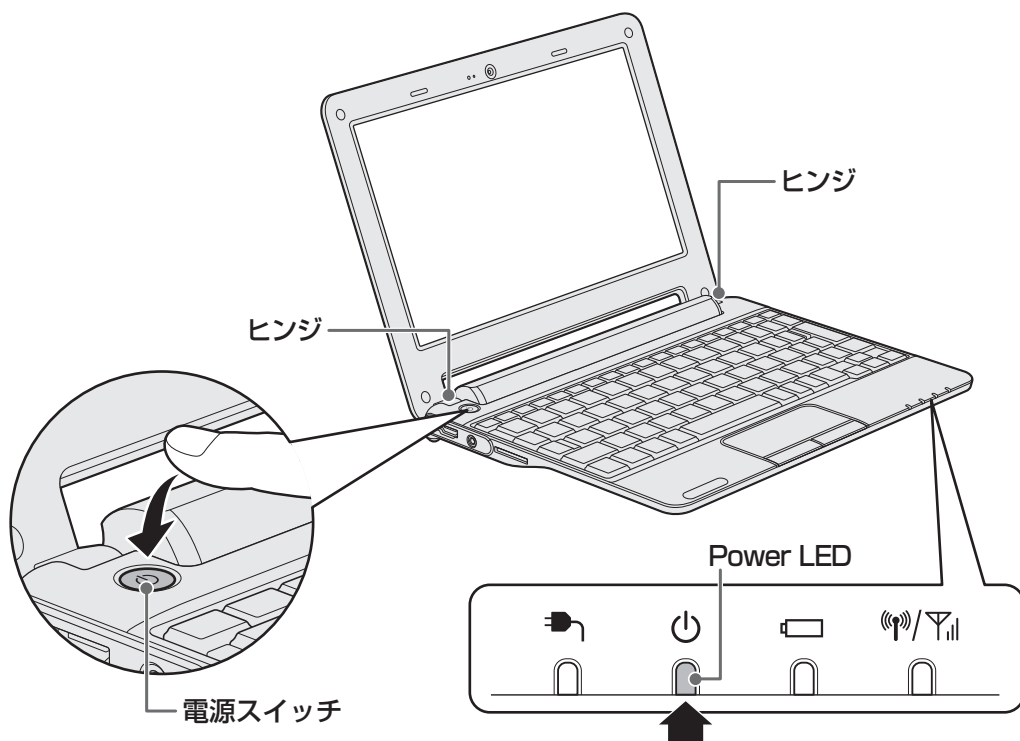


片手でパームレスト（キーボード手前部分）をおさえた状態で、ゆっくり起こしてください。

**2** 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。

Power LEDが点灯することを確認してください。



これで本製品の準備は完了です。

続いてAndroidのセットアップに進みます。

## 4 Androidのセットアップ

### 1 章


### 本製品の準備

#### 1 [言語:] の下のボタンをクリックする

ボタンに「日本語」と表示されている場合は、手順 **3** に進んでください。  
言語を選択する画面が表示されます。

#### メモ

##### ● クリックとは

タッチパッドに指をおいて、上下左右に動かすと、指の動きに合わせてディスプレイ上の「」(ポインタ)が動きます。

目的の位置にポインタを合わせたあと、左ボタンを1回押す操作を「クリック」といいます。

##### **参照** 詳しい使いかた

「本章 **3** - **1** タッチパッドで操作する」



##### ● 1つ前の画面に戻るには

設定を無効にして前の画面に戻るには「戻る」ボタンをクリックします。「戻る」ボタンが表示されていない画面では、キーボードの **[Esc/5]** キーを押すと1つ前の画面に戻ります。

##### ● 画面右隅のスクロールバーについて

設定画面中では、画面右隅にスクロールバーが表示されることがありますが、このバーをドラッグして画面を縦方向にスクロールすることはできません。

#### 2 [日本語] をクリックする

画面に「日本語」が表示されていない場合は、**[↓]** **[↑]** キーでスクロールさせてください。  
前画面に戻ります。

#### 3 [タイムゾーン:] の下のボタンをクリックする

ボタンに「Tokyo,Osaka」と表示されている場合は、手順 **5** に進んでください。  
地域を選択する画面が表示されます。

#### 4 [Tokyo,Osaka] をクリックする

画面に「Tokyo,Osaka」が表示されていない場合は、**[↓]** **[↑]** キーでスクロールさせてください。  
前画面に戻ります。

#### 5 [日付:] の下のボタンをクリックする

ボタンに表示されている日付が合っている場合は、手順 **7** に進んでください。  
日付を設定する画面が表示されます。

**6** 月、日、年の上下にある **[+]** ボタン、**[-]** ボタンをクリックして、日付を設定し、**[設定]** ボタンをクリックする

前画面に戻ります。

**7** **[時刻:]** の下のボタンをクリックする

ボタンに表示されている時刻が合っている場合は、手順 **9** に進んでください。時刻を設定する画面が表示されます。

**8** 時、分の上下にある **[+]** ボタン、**[-]** ボタンをクリックして、時刻を設定し、**[設定]** ボタンをクリックする

前画面に戻ります。

**9** **[次へ]** ボタンをクリックする

無線LANを設定する画面が表示されます。

**10** **[次へ]** ボタンをクリックする

※ 無線LANの設定は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

ソフトウェアの使用許諾画面が表示されます。


## 11 [同意します] をクリックし、[設定終了] ボタンをクリックする

セットアップが完了します。  
本製品のホーム画面が表示されます。



「TOSHIBA Service Station」のメッセージが表示された場合は、次の「本項 5 「TOSHIBA Service Station」について」を確認してください。

### メモ

- しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。  
もう1度表示するには、**[SHIFT]**キーを押すか、タッチパッドをクリックしてください。  
**[SHIFT]**キーやタッチパッドでは復帰せず、Power  LEDが点滅している場合は、電源スイッチを押してください。

## 5 「TOSHIBA Service Station」について

「TOSHIBA Service Station」は、ソフトウェアのアップデートを自動的に提供するためのソフトウェアです。以降の説明をお読みのうえ、「TOSHIBA Service Station」を使用して、本製品を最新の状態に保つことを強くおすすめします。

このソフトウェアは本製品の識別情報などを当社のサーバーへ送信します。使用できるように設定する前に、詳しい内容を説明した使用許諾書が表示されますので、よくお読みください。

### お願い 「TOSHIBA Service Station」を使用するには

- 「TOSHIBA Service Station」はACアダプターを取り付けてご使用ください。

### メモ

- 「TOSHIBA Service Station」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- 「TOSHIBA Service Station」は、本製品に用意されているアプリケーションやプラットフォームのうち、一部についてアップデートをお知らせします。「dynabook.com」にアクセスし、よくあるご質問FAQやウイルス・セキュリティ情報などとあわせてご利用ください。
- プラットフォームをアップデートした場合は、プラットフォームの領域のみがアップデートされます。お客様のデータ領域は保持されます。

## 設定方法

「TOSHIBA Service Station」を使用できるように設定する方法は、次のとおりです。

### 1 本製品起動後、[アプリケーション] タブ→ [TOSHIBA Service Station] をクリックする

初めて起動したときは、本ソフトウェアに関する詳しい説明（使用許諾書）が表示されます。

### 2 内容を確認し、[同意する] ボタンをクリックする

使用許諾書に同意しない限り「TOSHIBA Service Station」は動作しません。使用許諾書に同意すると、以降は、ソフトウェアのアップデートを検出する機能が、本製品を起動すると自動的に動作します。

### ■ 使用方法

---

「TOSHIBA Service Station」は、本製品に関するアップデートがあるかどうか、定期的にチェックしています。

#### □ ダウンロード

本製品に用意されているアプリケーションにアップデートがあることを検知すると、ステータスバーに「TOSHIBA Service Station」のアイコンが表示されているときは、メッセージ「X件の新しいソフトウェアのアップデート（更新）があります。」が表示されます。メッセージを確認し、画面の指示に従ってダウンロードしてください。

#### □ インストール

アップデートをダウンロードしたとき、本製品に適用するためにインストール操作が必要です。ダウンロード完了メッセージを確認し、画面の指示に従ってインストールしてください。

#### □ プラットフォームのアップデート

プラットフォームのアップデートは、途中で中断できません。Androidのセットアップ画面が表示されるまで、何も操作せずにお待ちください。途中で電源を切らないでください。

ソフトウェアやプラットフォームのアップデートを手動で確認したい場合は、[アプリケーション] タブ→ [TOSHIBA Service Station] をクリックし、[すべてのアップデートを確認] をクリックしてください。

#### メモ

- 「TOSHIBA Service Station」は自動的にアップデート情報を検知するので、通常は手動で確認する必要はありません。
-

## 6 セットアップが終了したら

### 日付と時刻の確認

日付と時刻は、[設定] タブ→ [設定] → [日付と時刻] で確認できます。  
[自動] のチェックをはずし、日付は [日付設定]、時刻は [時刻設定] で確認します。  
正しく表示されていない場合は、設定しなおしてください。  
なお、時刻はステータスバーエリアでも確認できます。



### バックアップをとる

作成したファイルを誤って削除してしまったり、突然のトラブルによって保存したファイルが  
使えなくなってしまうことがあります。  
このような場合に備えて、あらかじめファイルをSDメモリーカードやUSBフラッシュメモリな  
どの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。  
一度なくしたデータを復旧することはできません。万が一のために、必ず定期的にバックアップ  
をとりましょう。

**参照** ▶ バックアップについて《オンラインマニュアル》

# 5


## 本製品の電源について

### 1章


#### 本製品の準備

本製品は、常時電源を入れた状態で使用できます。ただしバッテリーを使い切ると電源は切れ、充電が必要となります。バッテリー残量の減少を抑えるため、本製品には省電力機能が搭載されています。電源を入れたまま本製品をしばらく操作しないと、省電力機能が働き、時間経過とともに次のように本製品の状態が変わります。

#### ディスプレイがオフになる

- 画面の表示が消えます（Power  LEDは、白色点灯のまま）。
- 作業中のデータはそのままで、画面表示のみがオフになっている状態です。
- バッテリーを消耗します。ただし、画面表示がオフになっている分だけ、バッテリーの消耗を抑えられます。
- **SHIFT** キーを押すか、タッチパッドをクリックすると復帰します。
- ディスプレイがオフのままバッテリーを使い切ると、電源が切れます。

#### 電源が切れる



- 画面の表示が消え、Power  LEDが消灯します。
- 作業中のデータがあった場合は、データは消失しています。
- 電源が切れている状態でも、バッテリーは自然放電しています。

バッテリーを使い切って、電源が切れた場合は、未保存のデータなどは消失します。バッテリー残量の減少を抑えるため、手動でサスペンドにしたり、電源を切ったりする場合は、次のように操作します。

### 警告

#### ● 電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る

本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線機能を無効に設定した上で、本製品の電源を切ってください。他の機器に影響を与えることがあります。

- ・ 無線機能は、 キーを押してOFFにすることができます。 キーを押して無線機能をOFFに設定し、ワイヤレスコミュニケーションLEDが消灯しているのを確認してください。
- ・ サスペンドでは、本製品が自動的に動作することがあるため、飛行を妨げたり、他のシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
- ・ 電源を切った状態でも本製品が自動的に動作するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効に（解除）してください。

# 1 サスペンド

本製品の使用を中断する場合は、本製品を「サスペンド」にしましょう。

サスペンド機能は、次に電源スイッチを押したときに素早く中断したときの状態を再現することができます。サスペンド中もバッテリーを消耗します。

自宅またはオフィスで使用する場合は、サスペンド中はACアダプターを取り付けておくことを推奨します。

なお数日以上使用しないときや、付属の説明書で電源を切る手順が記載されている場合（バッテリーパックの取り付け／取りはずしなど）は、サスペンドではなく、必ず電源を切ってください。

## お願い 操作にあたって

### 中断する前に

- サスペンドを実行する前にデータを保存することを推奨します。
- サスペンドを実行するときは、メディアへの書き込みが完全に終了していることを確認してください。  
書き込み途中のデータがある状態でサスペンドを実行したとき、データが正しく書き込まれないことがあります。メディアを取り出しできる状態になっていれば書き込みは終了しています。

### 中断したときは

- サスペンド中は、バッテリーの取り付け／取りはずしは行わないでください。保存されていないデータは消失します。また、以下のおそれがあります。
  - ・感電、故障のおそれ
  - ・次回電源を入れたときに、本製品が起動しないおそれ

また、サスペンド中にバッテリー残量が減少した場合も同様に、次回起動時に本製品が起動しないことがあります。

本製品が起動しない場合は、電源スイッチを6秒間押し続けた後電源を切ったあと、再度電源を入れてください。この場合、サスペンド前の状態は保持できていません。

- サスペンドを利用しないときは、データを保存し、ホーム画面に戻ってから、電源を切ってください。保存されていないデータは消失します。

## 1 電源ボタンを2秒間押す

メニュー画面が表示されます。6秒以上押し続けると強制終了になりますので、ご注意ください。

## 2 [サスペンド] をクリックする

画面の表示がオフになり、サスペンド状態になります。

電源スイッチを押すと、中断したときの状態を再現します。

## 2 電源を切る

電源を切るには、次のように操作してください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失うおそれがあります。

### お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 内蔵フラッシュメモリやSDメモ리카ード、USBフラッシュメモリなどにアクセス中は電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

### 1 電源ボタンを2秒間押す

メニュー画面が表示されます。6秒以上押し続けると強制終了になりますので、ご注意ください。

### 2 [電源を切る] をクリックする

確認の画面が表示されます。

### 3 [OK] ボタンをクリックする

本製品の電源が切れると、Power  LEDが消灯します。

### お願い 電源を切ったあとは

- 本製品に接続している機器（周辺機器）の電源は、本製品の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃で本製品が故障する場合があります。
- 本製品や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

### 3 電源を入れる

セットアップを終えたあとは、次の手順で電源を入れます。

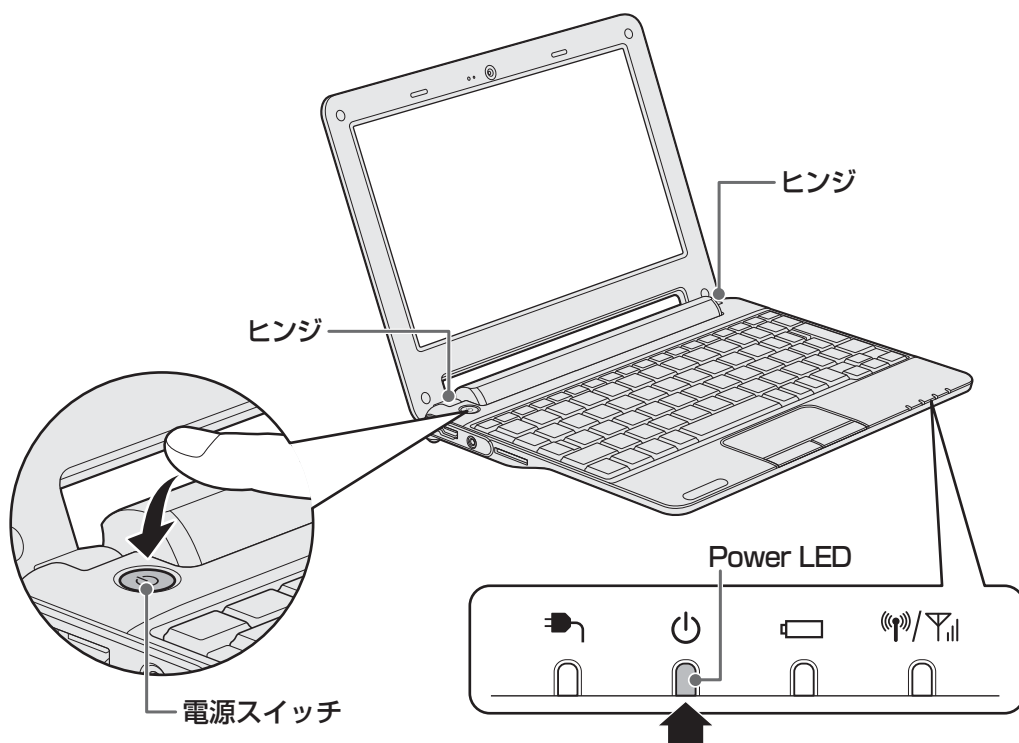
#### お願い 電源を入れる前に

- 各スロットに記録メディアなどをセットしている場合は取り出してください。
- 電源を入れる必要がある周辺機器を接続している場合は、本製品より先に周辺機器の電源を入れてください。

#### 1 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。

Power LEDが点灯することを確認してください。



本製品が起動します。

## 電源に関する表示


電源の状態はシステムインジケータの点灯状態で確認することができます。

電源に関係あるインジケータとそれぞれの意味は次のとおりです。

	状態	本製品の状態
DC IN  LED	白色の点灯	ACアダプターを接続している
	消灯	ACアダプターを接続していない
Power  LED	白色の点灯	電源 ON
	白色の点滅	サスペンド中
	消灯	電源 OFF

\* 電源に関するトラブルについては、「5章 2 Q&A集」を参照してください。

### メモ

- しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。  
もう1度表示するには、**[SHIFT]**キーを押すか、タッチパッドをクリックしてください。  
**[SHIFT]**キーやタッチパッドでは復帰せず、Power  LEDが点滅している場合は、電源スイッチを押してください。

# 6

# dynabook を使おう

## 1章

## 本製品の準備

### 1 本製品の画面

本製品の画面は3つのエリアで構成されています。

#### ステータスバーエリア

バッテリー残量や無線LANへの接続状況など本製品の現在の状態が表示されます。



#### デスクトップエリア


アプリケーションの画面が表示されます。アプリケーションを表示していないときは、壁紙、ウィジェット、ショートカットアイコンなどが表示されます。

(表示例)

#### ランチャーエリア

アプリケーションを起動するためのアイコンやタブが表示されます。

### メモ

- 上の画面は、本製品を起動後、すぐに表示される画面です。この画面のことを「ホーム画面」と呼びます。
- ランチャーエリアが表示されず、次のように表示された場合は、ランチャータブアイコン (  ) をクリックします。



ここをクリック



ランチャーエリアが表示される

画面は表示例です。

## 1 ステータスバーエリア



ステータスバーエリアには、次のアイコンが表示されます。

## ■ ステータスアイコン









現在の本製品の状況が表示されます。

受信状態やバッテリー残量により、アイコンの表示が何段階かに分かれます。

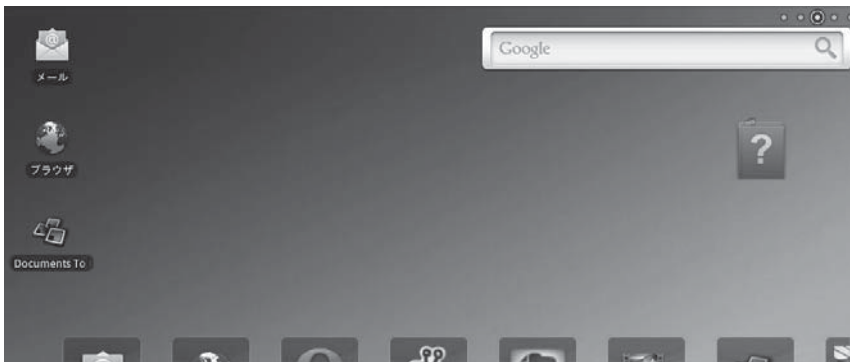
アイコン名	アイコン	意味
無線LAN		無線LANに接続されている状態。
		無線LANに接続されていない状態。
Bluetooth		Bluetoothがオンになっている状態。
		Bluetoothで機器が接続されている状態。
電波		電波が受信できる状態。
		ローミング状態。
		電波が受信できない状態。
バッテリー		バッテリー残量がまったくなく、充電またはバッテリーパックの交換が必要な状態。
		バッテリー残量が極めて少なく、充電が必要な状態。
		バッテリーの一部が使用されている状態。
		バッテリーがフル充電されている状態。
		バッテリーを充電中の状態。
機内モード		機内モードが設定されている状態。

## ■ 通知アイコン

プラットフォームやアプリケーションからの通知が表示されます。ステータスバーエリアをクリックすると通知内容を確認できます。

アイコン	意味
	新しいボイスメールが届いた。
	同期エラー。
	データを同期中。
	データをアップデート中。
	データをダウンロード中。
	無線LANが使用できない。
	アラームセット中。
	「TOSHIBA Service Station」のアップデートがある。

## 2 デスクトップエリア



(表示例)

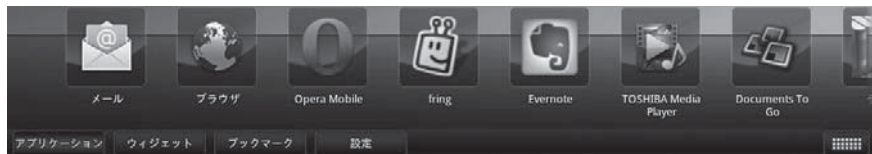
アプリケーションの画面が表示されます。アプリケーションを表示していないときは、壁紙とウィジェットが表示されます。

よく使うアプリケーションへのショートカットを置いておくこともできます。デスクトップはお好みに合わせてカスタマイズできます。

## 3 ランチャーエリア

## 1 章

## 本製品の準備



(表示例)

アプリケーションを起動するためのアイコンなどが表示されます。

アイコンの表示方法は、 または  で変更できます。

画面下のタブをクリックすると、アイコンが切り替わります。

各アイコンから起動できる機能については、オンラインマニュアルを参照してください。





**参照** 《オンラインマニュアル》

- **[アプリケーション] タブ**  
アプリケーションのアイコンが表示されます。
- **[ウィジェット] タブ**  
ウィジェットのアイコンが表示されます。
- **[ブックマーク] タブ**  
ブックマークを設定したホームページへのショートカットアイコンが表示されます。
- **[設定] タブ**  
本製品や本製品のデスクトップの設定画面を表示するアイコンが表示されます。


## 2 本製品の基本操作

## 画面の表示領域を動かす



画面の表示領域は、次の2つの方法で動かせます。

-     キーを押し続ける
- デスクトップの任意の位置をクリックしたまま、タッチパッド上で指を動かす

なお、デスクトップの表示領域は、次の方法でも動かせます。

- 画面右上の○ () をクリックする。  
画面右上には5つの○があります。  
一番左の○をクリックすると、デスクトップの左端が表示されます。  
一番右の○をクリックすると、デスクトップの右端が表示されます。  
表示したい位置の○をクリックします。

## ランチャーエリアのアイコンの表示方法を変更する

ランチャーエリアのアイコンの表示方法は、画面右下の  または  をクリックすることで変更できます。

### □ アイコンをデスクトップいっぱいに表示する

#### 1 画面右下の をクリックする



(表示例)

アイコンがデスクトップいっぱいに表示されます。



(表示例)

表示されていないアイコンを見るには、  キーなどで画面の表示領域を動かします。

### □ ランチャーエリアに、アイコンを1列に表示する

#### 1 画面右下の をクリックする

アイコンがランチャーエリアに1列に表示されます。

表示されていないアイコンを見るには、  キーなどで画面の表示領域を動かします。

## 項目、アイコンを選択する

キーボードのキーを使用して、設定項目やアプリケーションのアイコンを選択する方法は、次のとおりです。

### 1 キーを押す

キーの方向に選択項目が移動します。項目やアイコンが画面に表示しきれない場合は、画面がスクロールします。

### 2 キーを押す

項目が確定します。アプリケーションのアイコンを選択していた場合は、アプリケーションが起動します。



### メモ

- マウスやタッチパッドを使用する場合は、目的のアイコンにカーソルをあて、クリックするだけで選択できます。

## アプリケーションを起動する

アプリケーションを起動する方法は、次のとおりです。ウィジェットの起動方法なども同様です。

### 1 [アプリケーション] タブをクリックする

ランチャーエリアにアプリケーションのアイコンが表示されます。

### 2 起動したいアプリケーションのアイコンをクリックする

アプリケーションが起動します。

## アプリケーションのサブメニューを表示する

アプリケーションのサブメニューを表示する方法は、次のとおりです。サブメニューが有効な場合のみ、操作できます。

### 1 アプリケーション実行中に、 キーを押す

アプリケーションのサブメニューが表示されます。

## アプリケーションを見えなくする

現在表示されているアプリケーションを見えなくする方法は、次のとおりです。

### 1 キーを押す



アプリケーションの画面が消えます。

## メモ

- アプリケーションによっては、画面からアプリケーションを見えなくするボタンが用意されているものもあります。

## 最近使ったファイルを開く



最近使ったファイルを開くには、次の2つの方法があります。

-  キーを2秒間押し続ける
-  キーを押す

## 前の画面に戻る

操作を行っていて、前の画面に戻りたくなった場合の手順は、次のとおりです。

### 1 キーを押す

1つ前の画面に戻ります。 キーを押すたびに1つ前の画面に戻ります。目的の画面に戻るまで、 キーを押します。

## ウィジェットを消す

起動したウィジェットを画面から消したい場合の手順は、次のとおりです。

### 1 消したいウィジェットの上で左ボタンを長押し、そのままゴミ箱にドラッグする

ウィジェットが画面から消えます。

## その他の機能

デスクトップ上で右クリックするとランチャーエリアにアイコンが表示され、次の操作ができます。

アイコン	機能
[追加]	デスクトップにショートカットやウィジェット、フォルダーを追加したり、壁紙を変更したりできます。
[壁紙]	デスクトップの壁紙を変更できます。
[検索]	ファイルやアプリケーションの検索ができます。
[通知]	アプリケーションからの通知を確認できます。
[設定]	本製品の設定画面が表示されます。 <sup>*1</sup>

\*1 本製品の設定画面は、ランチャーエリアの [設定] タブ→ [設定] から表示できます。

## 3 文字を入力するには

本製品で文字を入力するには、次の2つの方法があります。

- **Androidキーボードを使用する**  
半角の英数字、記号のみを入力できます。  
日本語入力には対応していません。
- **FSKARENを使用する**  
半角／全角の英数字、記号を入力できます。  
日本語入力にも対応しています。



- 購入時の状態では、FSKARENが有効となっています。

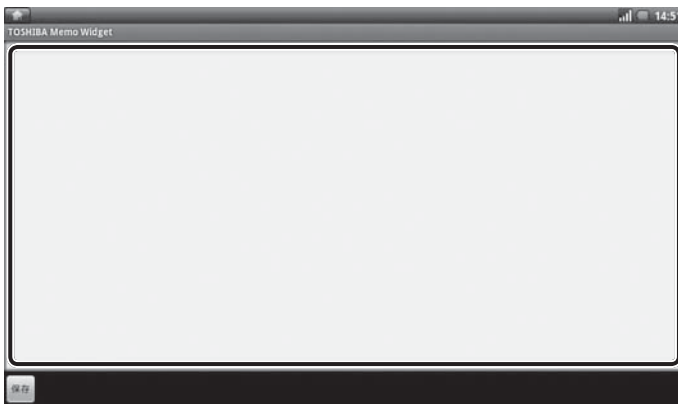
### 入力方法を選択する



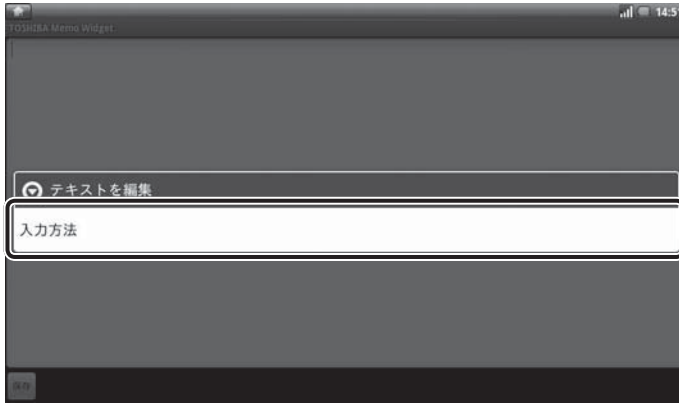
- この操作は、[設定] タブ→ [設定] → [言語とキーボード] で、「Androidキーボード」と「FSKAREN」の両方を有効にしている場合のみ可能です。どちらか一方のみを有効にしている場合は、有効にしている入力方法での入力になります。

ここでは、「TOSHIBA Memo Widget」の画面を例にして説明します。「TOSHIBA Memo Widget」を起動するには、[ウィジェット] タブ→ [TOSHIBA Memo Widget] をクリックしてください。

#### 1 文字を入力するエリアにポインタを合わせ、タッチパッドの左ボタンを長押しする



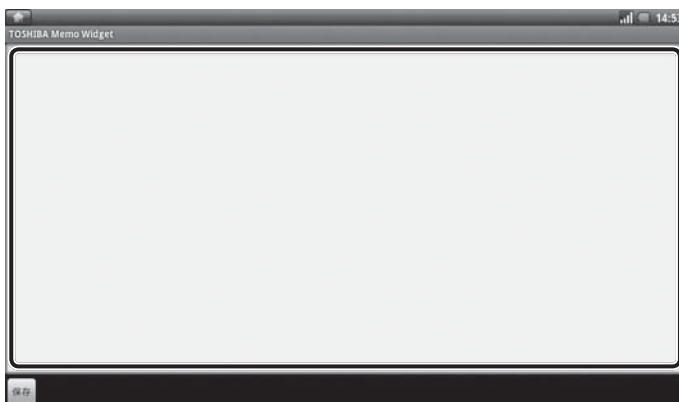
入力方法を指定する画面が表示されます。

**2** [入力方法] をクリックする**3** 入力方法を選択する

選択した入力方法での入力が可能になります。

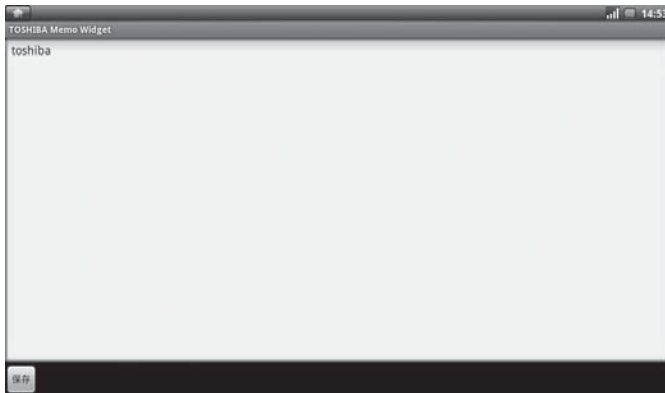
**Androidキーボードを使用する**

Androidキーボードで入力する方法は次のとおりです。

**1** アプリケーション（ウィジェット）の画面で文字を入力するエリアをクリックする

## 2 文字を入力する

キーによっては長押しすると、入力候補が表示されるものがあります。入力エリアに入力した文字が表示されます。




### メモ

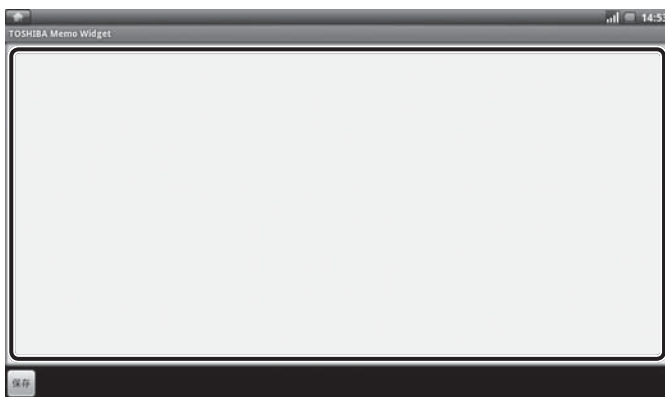
- この他の入力方法の詳細を設定したい場合は、[設定] タブ → [設定] → [言語とキーボード] → [Android キーボード Android キーボードの設定] で設定できます。

## FSKAREN を使用する

### メモ


- FSKAREN では、「ローマ字入力」が既定値になっています。「かな入力」に変更する場合は、**[ALT]** +  キーを押すか、[設定] タブ → [設定] → [言語とキーボード] → [FSKAREN FSKAREN の設定] → [入力方式] で「かな入力」を選択してください。

## 1 キーを押す



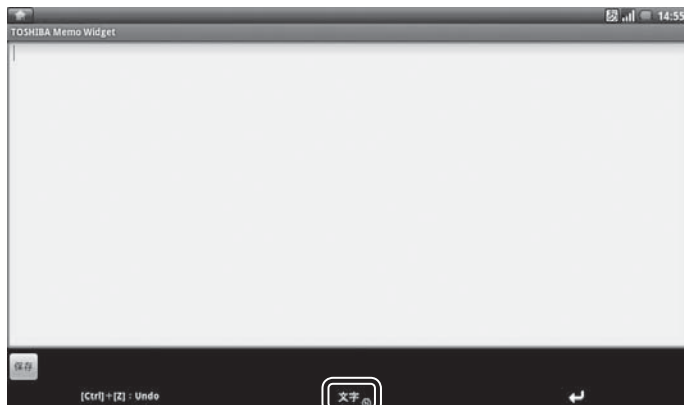
入力する文字種を指定するためのボタンが表示されます。

### メモ

-  キーを再度押すと、直接入力モードになります。直接入力モードでは、半角の英数字、記号のみを入力できます。


## 2

文字  または 文字 、文字 、文字  をクリックする



入力する文字種を指定する画面が表示されます。

### メモ

- **[ALT]** + **[半/全英字]** キーまたは、**[CTRL]** + **[SPACE]** キーを押すことで、キー操作で入力する文字種を切り替えることができます。ステータスバーエリア（画面右上）のアイコン（ など）で確認してください。

## 3

入力する文字種のボタンをクリックする



## 1章

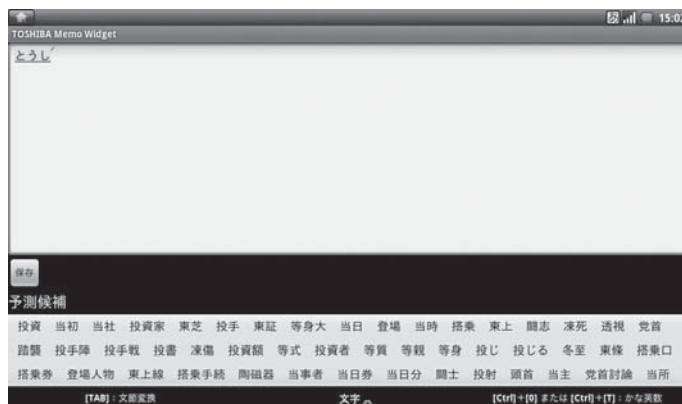
## 本製品の準備

各ボタンと入力できる文字種の関係は次のとおりです。

ボタン	入力できる文字種
記号	記号を入力できます。
顔文字	顔文字を入力できます。
定型文	定型文を入力できます。
あ	ひらがなや漢字を入力できます。
カ	全角のカタカナを入力できます。
か	半角のカタカナを入力できます。
abc	全角のアルファベットを入力できます。
abc	半角のアルファベットを入力できます。
戻る	文字種を指定する画面を閉じて、入力画面に戻ります。
Ⓝ (ノーマルモード)	パーソナルモードを指定できます。 パーソナルモードを指定することで、モードに合った近似予測変換、連携予測変換の候補を表示することができます。
👤 (プライベートモード・男性)	
👩 (プライベートモード・女性)	
👔 (ビジネスモード)	

入力画面に戻ります。

## 4 文字を入力する

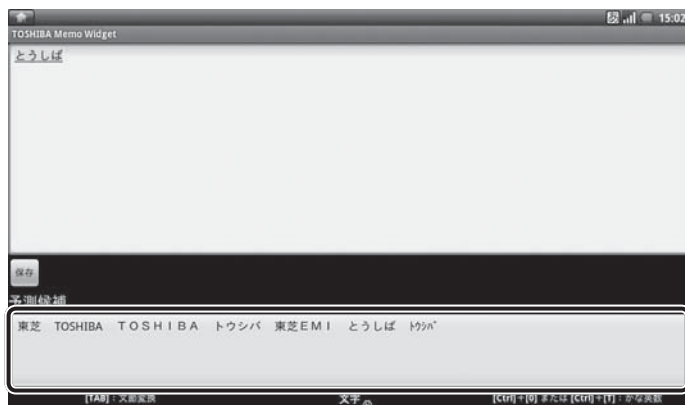


1文字入力するたびに、変換の予測候補が画面下に表示されます。

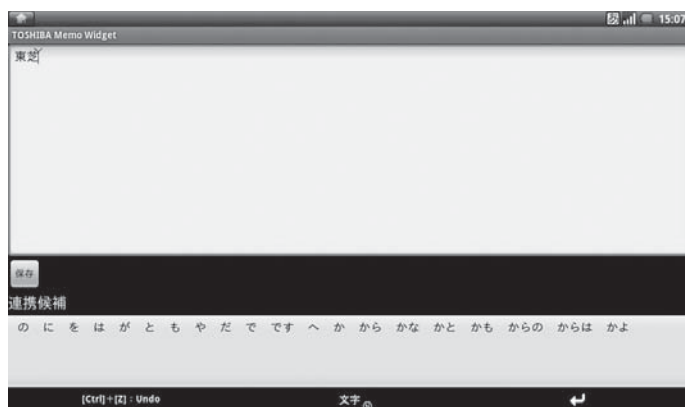


- **[SPACE]** キーを押して、変換する文字を直接指定することもできます。

## 5 予測候補から目的の文字を選択する



選択した文字が入力エリアに表示されます。





## ● その他の操作

入力時に画面下に表示されるボタンをクリックすると、次の操作ができます。

ボタン	機能
Undo	確定した文字列の変換をやり直します。
	改行します。
かな英数	入力中の文字を英数文字に変換します。
予測入力	変換の予測候補を表示します。
通常入力	入力中の文字をかな漢字文字に変換します。
文節変換	通常入力時のみ指定できます。文節ごとに分けて変換します。
文節縮小	文節変換時のみ指定できます。選択中の文節を1文字分縮小します。
文節拡大	文節変換時のみ指定できます。選択中の文節を1文字分拡大します。

## ● ショートカット

文字を入力する画面では、次のショートカットキーが使用できます。

ショートカットキー	機能
<b>CTRL</b> + <b>0</b> キー	入力中の文字を半角英数字に変換します。
<b>CTRL</b> + <b>9</b> キー	入力中の文字を全角英数字に変換します。
<b>CTRL</b> + <b>8</b> キー	入力中の文字を半角カタカナに変換します。
<b>CTRL</b> + <b>7</b> キー	入力中の文字を全角カタカナに変換します。
<b>CTRL</b> + <b>6</b> キー	入力中の文字を全角ひらがなに変換します。
<b>CTRL</b> + <b>5</b> キー	入力中の文字を単漢字変換します。
<b>CTRL</b> + <b>4</b> キー	定型文一覧を表示します。
<b>CTRL</b> + <b>3</b> キー	顔文字一覧を表示します。
<b>CTRL</b> + <b>2</b> キー	記号一覧を表示します。
<b>CTRL</b> + <b>M</b> キー	機能メニューを表示します。

- このほかの入力方法の詳細を設定したい場合は、[設定] タブ → [設定] → [言語とキーボード] → [FSKAREN FSKARENの設定] で設定できます。

本製品が起動しているときに、《オンラインマニュアル》を画面上で見ることができます。《オンラインマニュアル》には、本製品の使用方法についての説明がより多く記載されています。次のように操作すると、「Documents To GoのPDF To Go Lite」が起動し、《オンラインマニュアル》が表示されます。

初めて「Documents To GoのPDF To Go Lite」を起動したときは、[使用許諾契約書] 画面が表示されます。契約内容をお読みのうえ、[承諾] ボタンをクリックしてください。[承諾] ボタンをクリックしないと、「Documents To GoのPDF To Go Lite」をご使用になれません。また、《オンラインマニュアル》を見ることはできません。

## 起動方法

### 1 デスクトップ上の《オンラインマニュアル》のアイコン ( ? ) をクリックする

《オンラインマニュアル》が起動します。



- デスクトップ上に《オンラインマニュアル》のアイコン ( ? ) がない場合は、[ウィジェット] タブ → [Online Manual] をクリックしてください。
- 『dynabookガイド』の内容も、本製品の画面上で見ることができます。東芝PC総合情報サイト「dynabook.com (<http://dynabook.com/pc/>)」からダウンロードしてください。

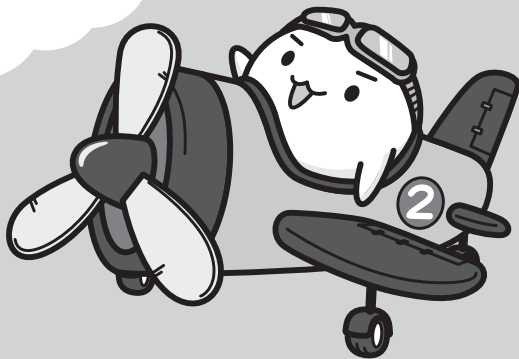


# 2章

## インターネットを快適に利用するために

インターネットを使うための準備と、より安全にインターネットを利用する方法について説明します。

1 インターネットを使うには ..... 54



# 1 インターネットを使うには

本製品では無線LANルーターまたは無線LANアクセスポイントを経由してインターネットに接続します。インターネットに接続しホームページの閲覧をするには設定が必要です。

## 2章

### 1 使用するまでの流れ

#### プロバイダーに加入する

プロバイダーとはインターネット接続の窓口となる会社のことです。会社によって使用料金やサービス内容が異なります。使用できるまでに数日かかる場合があります。

#### インターネットに接続する

無線LANルーターまたは無線LANアクセスポイントに必要な設定を行います。

#### ブラウザソフトを用意する

Android標準のブラウザおよびOpera Mobileでホームページの閲覧ができます。

#### メールソフトを用意する

メールを使用するには、メールソフトでの設定が必要です。Android標準のメールソフトが使用できます。

インターネットを快適に利用するために

## 2 インターネットへの接続方法

1 プロバイダーから送られてきた機器や説明書をそろえる

2 手順 1 で用意した機器を無線LANルーターまたは無線LANアクセスポイントに接続し、必要な設定を行う



- 接続に必要な機器や設定方法は、ご加入のプロバイダーによって異なります。プロバイダーとの契約時に送られてきた説明書にしたがって操作してください。

3 本製品を無線LANルーターまたは無線LANアクセスポイントに接続する

**参照** 接続方法の詳細《オンラインマニュアル》

## 3 インターネットをより安全に楽しむために

インターネットを利用すると、本製品の画面上でいろいろな情報を見ることができ、大変便利です。しかし、インターネットは、いい情報だけを入手できるとは限りません。また、情報を入手するだけでなく、知らない間にこちらの情報を引き出されてしまうこともあります。「よくない情報」の代表的なものは、「コンピューターウイルス」です。また、特に気をつけたいものは、インターネットを通じて、こちらの情報（氏名やパスワード、ホームページの閲覧履歴など）を第三者に流出する「スパイウェア」と、閲覧したユーザーに悪影響を与えるおそれのある「有害サイト」です。

ウイルスチェックソフト、スパイウェア対策ソフト、有害サイト閲覧制限ソフトを上手に使って、快適にインターネットを楽しみましょう。

本製品にはウイルス対策ソフトは搭載されていません。別途ご用意ください。



# 3章

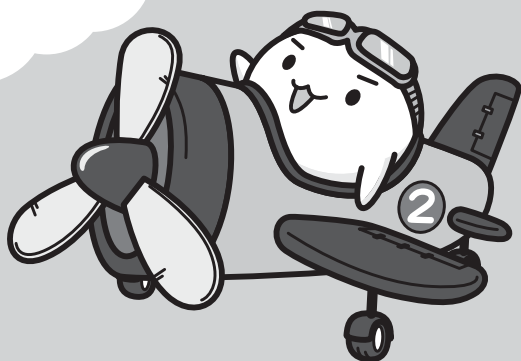
## ■ 周辺機器を使って機能を広げよう

本製品でできることをさらに広げたい。

そのためには周辺機器を接続して、機能を拡張しましょう。

この章では、接続できる周辺機器についてとバッテリーの取り扱い方法について説明しています。

- 1 周辺機器を使う前に ..... 58
- 2 バッテリーについて ..... 59



周辺機器とは、本製品に接続して使う機器のことで、デバイスともいいます。周辺機器を使うと、本製品の性能を高めたり、本製品が持っていない機能を追加することができます。

周辺機器には、本製品のカバーを開けて、本製品の中に取り付ける内蔵方式のものと、本製品の周囲にあるコネクタや端子、スロットにつなぐ外付け方式のものがあります。

### ■ 内蔵方式のもの

- バッテリー

### ■ 外付け方式のもの

本製品のインターフェースに合った周辺機器をご利用ください。

周辺機器によっては、インターフェースなどの規格が異なることがあります。インターフェースとは、機器を接続するときのケーブルやコネクタや端子、スロットの形状などの規格のことです。

購入される際には、目的に合った機能を持ち、本製品に対応している周辺機器をお選びください。周辺機器が本製品に対応しているかどうかについては、その周辺機器のメーカーに確認してください。

#### お願い

#### 周辺機器の取り付け／取りはずしにあたって

- あらかじめ、「付録 **1** - **3** 周辺機器について」を確認してください。

本製品で使用できるおもな周辺機器は、次のとおりです。

- バッテリー

**参照**▶「本章 **2**」

ほかにも、次の周辺機器が使用できます。

- テレビ
- 外部ディスプレイ
- ヘッドセット
- ヘッドホン
- USB 対応機器（USB 対応マウス、USB 対応キーボード、USB ハブ、USB フラッシュメモリ、USB 接続型ハードディスク）

**参照**▶《オンラインマニュアル》

#### メモ

- マウスのホイール、キーボードの **[PGUP]** キー、**[PGDN]** キーは、アプリケーションによって使用できない場合があります。

本製品は、バッテリーパックを取り付けた状態で使用してください。

バッテリーを充電して、バッテリー駆動（ACアダプターを接続しない状態）で使うことができます。

本製品を初めて使用するときは、バッテリーパックを充電してから使用してください。

バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめACアダプターを接続してバッテリーパックの充電を完了（フル充電）させるか、フル充電したバッテリーパックを取り付けてください。

指定する方法・環境以外でバッテリーパックを使用した場合には、発熱、発火、破裂するなどの可能性があり、人身事故につながりかねない場合がありますので、十分ご注意ください。『安心してお使いいただくために』に、バッテリーパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

## ⚠ 危険

- バッテリーパックは、本製品に付属の製品を使用する  
寿命などで交換する場合は、保守サービスに連絡してください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため発熱、発火、破裂のおそれがあります。

### お願い

バッテリーを使用するにあたって

- あらかじめ、「付録 **1** - **4** バッテリーについて」を確認してください。

## 1 バッテリー充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。

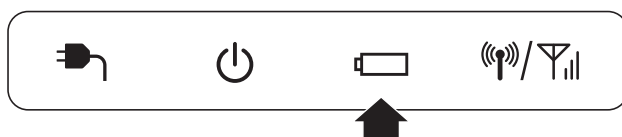
バッテリー充電量はシステムインジケータで確認できます。

また、本製品起動中は、ステータスバーエリアのバッテリーアイコンでも確認できます。

**参照** ▶ バッテリーアイコンについて《オンラインマニュアル》

ここでは、システムインジケータでの確認のしかたを説明します。

ACアダプターを使用している場合、Battery  LEDが点灯します。



## 2 バッテリーについて

Battery LEDは次の状態を示しています。

白色	充電完了
オレンジ色	充電中
オレンジ色の点滅	充電が必要 <b>参照</b> バッテリーの充電について《オンラインマニュアル》
消灯	・ バッテリーが接続されていない ・ ACアダプターが接続されていない 上記のいずれにも当てはまらない場合は、バッテリー異常の可能性が あります。東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

### 3章

## 2 バッテリーパックを交換する

バッテリーパックの交換方法を説明します。

バッテリーパックの取り付け/取りはずし的时候には、「サスペンド」にするのではなく、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。

### メモ

- キズや破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上に本製品を置いて作業を行ってください。

## 1 取りはずし/取り付け

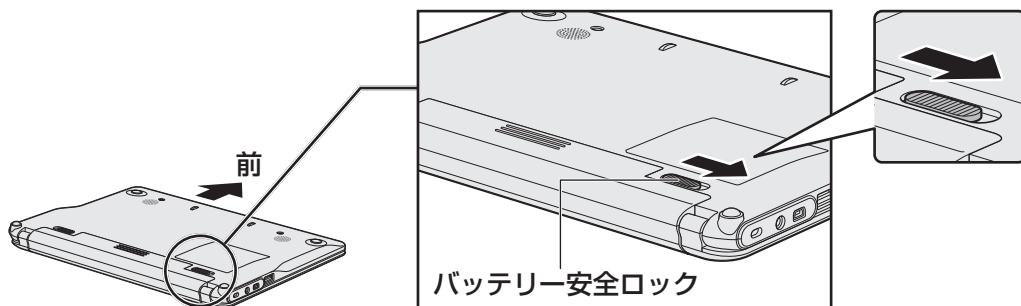
### 1 データを保存し、ホーム画面に戻って電源を切る

**参照** 電源の切りかた「1章 5 - 2 電源を切る」

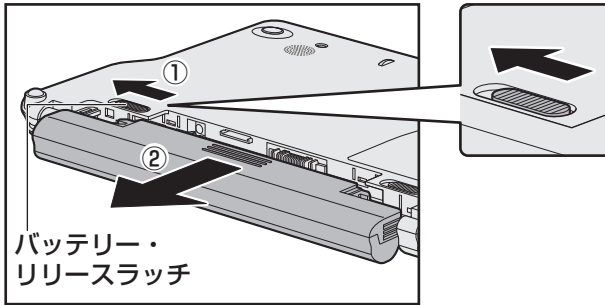
### 2 本製品からACアダプターと周辺機器のケーブル類をはずす

### 3 ディ스플레이を閉じて本製品を裏返す

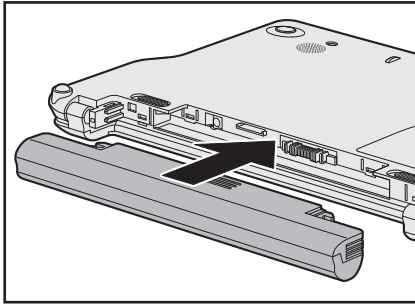
### 4 バッテリー安全ロックを、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にスライドする



- 5** バッテリー・リリースラッチをスライドしながら①、バッテリーパックを取りはずす②

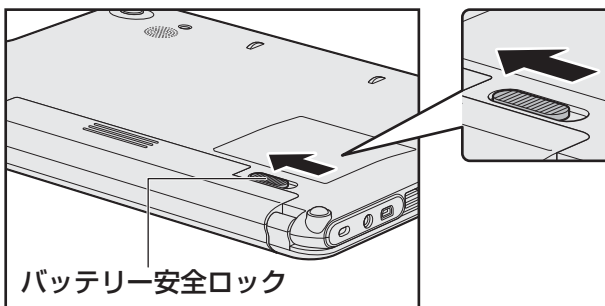


- 6** 交換するバッテリーパックを、「カチッ」と音がするまで静かに差し込む  
新しいあるいは充電したバッテリーパックを図のように差し込みます。  
バッテリー・リリースラッチが自動的にスライドして、「カチッ」という音がするまで注意して差し込んでください。



- 7** バッテリー安全ロックを、「カチッ」と音がするまで矢印の方向にスライドする

バッテリーパックがはずれないように、バッテリー安全ロックは必ず行ってください。





# 4章

## 買ったときの状態に戻すには —初期化—

この章では、本製品の動作がおかしくなり、いろいろなトラブル解消方法では解決できないときに行う「初期化」について説明しています。初期化を行うことでプラットフォームやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。作成したデータなどが消去されますので、よく読んでから行ってください。

- 1 バックアップをとる ..... 64
- 2 初期化とは ..... 65
- 3 初期化をする ..... 69
- 4 初期化をしたあとは ..... 72

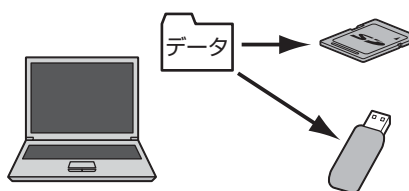


# 1

## バックアップをとる

保存したファイルやフォルダーを誤って削除してしまったり、トラブルなどによってファイルが使えなくなってしまうことがあります。

このような場合に備えて、あらかじめファイルをSDメモリーカードやUSBフラッシュメモリなど、本製品の内蔵フラッシュメモリ以外の記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。



### 4章

買ったときの状態に戻すには  
—初期化—

大切なデータは、こまめにバックアップをとってください。

バックアップについての詳しい説明や操作方法については、《オンラインマニュアル》を参照してください。

#### お願い バックアップをとるにあたって

- あらかじめ、「付録 **1** - **6** バックアップについて」を参照してください。

## 2 初期化とは

初期化とは、お客様が購入後にインストールしたアプリケーションや現在の設定などをすべて削除し、もう1度ご購入時の状態に復元する作業です。初期化の方法によっては、購入後にお客様が作成したデータも削除されます。

一度初期化を始めると、途中で中止したり、本製品の電源を切ることができません。時間の余裕をもって行ってください。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときに初期化をしてください。

- 本製品の動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない\*<sup>1</sup>
- 本製品の調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「初期化が必要」と診断された

\* 1 ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

### メモ

- 初期化は、誰でも実行できます。誤ってほかの人に初期化を実行されないよう、画面ロックを設定しておくことをおすすめします。

**参照**▶ 画面ロック《オンラインマニュアル》

### 1 初期化をする前に確認すること

本製品の動作がおかしいと感じたとき、次の方法を実行してみてください。初期化をしなくても、状態が改善される場合があります。次の方法をすべて試してみても状態が改善されない場合に、初期化を実行してください。

#### 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

USB 対応機器など、購入後に追加で増設した機器が障害の原因となっている場合があります。それらを取りはずしてから、再度起動して、動作を確認してみてください。また、電源関連のトラブルの場合は、バッテリーをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してみてください。

**参照** 機器の取りはずし「3章 周辺機器を使って機能を広げよう」  
《オンラインマニュアル》

## 4 章

#### ほかのトラブル解消方法を探す

本製品の調子がおかしいと思ったときは、「5章 **1** トラブルを解消するまでの流れ」、「5章 **2** Q&A 集」を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。それでも解消できないときに、初期化をしてください。

## 2 初期化の流れ

初期化をする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

バックアップをとる

参照 ▶ 「本章 **1** バックアップをとる」  
《オンラインマニュアル》

初期化（画面の指示に従い、Androidのセットアップまで行います）

初期化

参照 ▶ 「本章 **3** 初期化をする」

Androidのセットアップ

参照 ▶ 「1章 **4** - **1** - **4**  
Androidのセットアップ」

初期化したあと、必要に応じて行ってください。

周辺機器の接続

参照 ▶ 「3章 周辺機器を使って機能を  
広げよう」、  
《オンラインマニュアル》、  
各機器の説明書

データの復元

参照 ▶ 「本章 **4** - **1** バックアップ  
しておいたデータを復元する」

インターネットやメールの設定を  
確認する

参照 ▶ 「2章 **1** インターネットを  
使うには」、  
《オンラインマニュアル》

プラットフォームおよび  
アプリケーションのアップデート

参照 ▶ 《オンラインマニュアル》

## 4章

買ったときの状態に戻すには  
— 初期化 —

### 3 初期化をはじめめる前にしておくこと

初期化をはじめめる前に、次の準備と確認を行ってください。

#### 準備するもの

- 『dynabookガイド』（本書）
- 巻末の初期化チェックシートをコピーしたもの

#### バックアップをとる

初期化をすると、購入後にインストールしたアプリケーションなどは削除されて、各種設定が購入時の状態に戻ります。また、初期化の方法によっては、購入後に作成したデータもすべて消失します。初期化を行う前に必ずバックアップをとってください。

本製品では、アプリケーション領域内に保存されているお客様のデータを [内蔵ストレージ] フォルダーに zip ファイルとして退避することができます。

#### メモ

- アプリケーション領域内に保存されているデータをお客様がファイルとして確認することはできません。必ずこの方法でバックアップしてください。

バックアップを実行した年月日時刻をファイル名にして zip ファイルが 1 つ作られます。この zip ファイルには、次のデータが含まれています。

- システムやアプリケーションのデータや設定
- お客様がダウンロードなどして、本製品の購入後に追加したアプリケーション など

zip ファイル作成後、この zip ファイルを含めて [内蔵ストレージ] フォルダー内にあるすべてのファイルを、外部記録メディア（SD メモリカード、USB フラッシュメモリ、USB 接続型ハードディスクなど）にコピーしてください。

また、初期化したあとも現在と同じ設定で本製品を使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

**参照** ▶ バックアップについて《オンラインマニュアル》

#### 周辺機器をすべて取りはずす

マウスや USB 対応機器など、購入後に追加で増設した機器をすべて取りはずしてください。このとき、本製品の電源を切ってから行ってください。

**参照** ▶ 機器の取りはずし「3章 周辺機器を使って機能を広げよう」  
《オンラインマニュアル》

本製品に設定されている内容や購入後に追加したアプリケーションを削除し、購入時の状態に戻す方法について説明します。

本製品の初期化は、誰でも実行できます。

## 1 いくつかある初期化方法

初期化にはいくつかの方法があります。

あらかじめ、初期化方法を決めておくとスムーズに操作できます。

### □ [設定] タブ → [設定] → [プライバシー] から [データの初期化] を実行する

[データの初期化] 画面で、次の初期化方法を選択することができます。

#### ● [すべて消去] を選択する

アプリケーション領域を初期化し、購入時の状態に戻ります。

ただし、購入後に [内蔵ストレージ] フォルダー（データ領域）に作成したデータは保持されます。

#### ● [すべて消去（内蔵ストレージ内のすべてのユーザーデータを含みます）] を選択する

アプリケーション領域とデータ領域を初期化し、購入時の状態に戻ります。

購入後に [内蔵ストレージ] フォルダー（データ領域）に作成したデータは、消去されます。

### □ キーを押しながら電源スイッチを押して実行する

アプリケーション領域を初期化し、購入時の状態に戻ります。

ただし、購入後に [内蔵ストレージ] フォルダー（データ領域）に作成したデータは保持されます。

#### メモ

- 初期化は、内蔵フラッシュメモリからのみ行えます。上記の方法で初期化が行えなかった場合は、内蔵フラッシュメモリ内の初期化ツールが壊れている可能性があります。この場合は、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

#### 参照 ▶ 『サポートガイド』

- どの初期化方法を選択しても、プラットフォーム領域は、消去／変更されません。

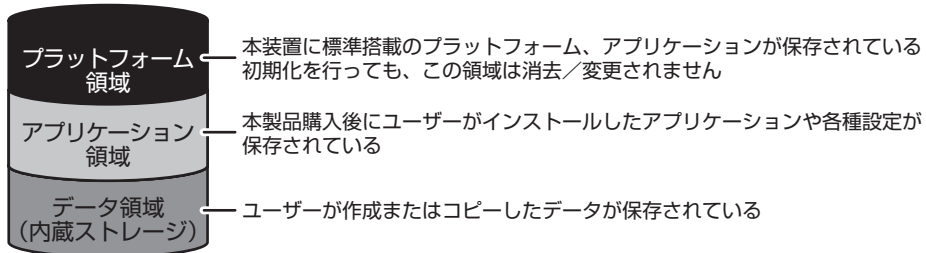
## 2 [データの初期化] を実行する

## 1 [設定] タブ→ [設定] → [プライバシー] → [データの初期化] をクリックする

[データの初期化] 画面が表示されます。

## 2 [すべて消去] または [すべて消去 (内蔵ストレージ内のすべてのユーザデータを含みます)] をクリックする

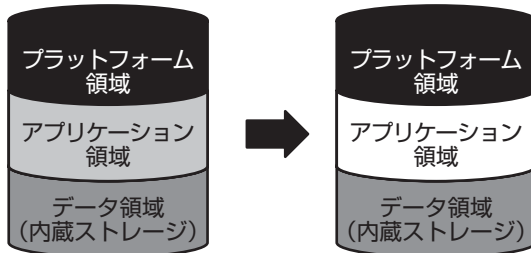
本製品の内蔵フラッシュメモリ内では、次のようにデータが保存されています。



[すべて消去] と [すべて消去 (内蔵ストレージ内のすべてのユーザデータを含みます)] の意味と動作は、次のとおりです。目的に合わせて選択してください。

## ● [すべて消去]

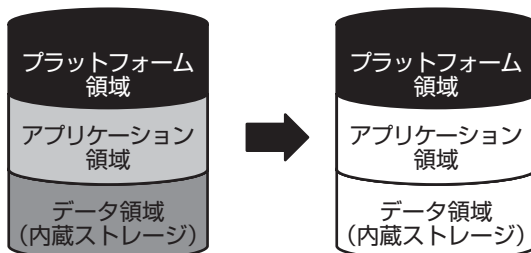
- ・ アプリケーション領域のみが消去される。



購入後にインストールしたアプリケーションと各種設定のみが消去されます。

## ● [すべて消去 (内蔵ストレージ内のすべてのユーザデータを含みます)]

- ・ アプリケーション領域が消去される。
- ・ データ領域 (購入後にユーザーが作成したデータや他の機器 (パソコン、デジタルカメラ、インターネットのサイトなど) から本製品にコピー、ダウンロードしたデータが保存されている) が消去される。



購入時の状態に戻ります。

初期化が実行されます。初期化実行中を示す画面が表示されますが、Androidのセットアップ画面が表示されるまで、お待ちください。  
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

### 3 Androidのセットアップを行う

参照 ▶ 「1章 4 - 1 - 4 Androidのセットアップ」

周辺機器の接続や、購入後に追加したアプリケーションのインストールなどは、Androidのセットアップ後に行ってください。

参照 ▶ 周辺機器の接続「3章 周辺機器を使って機能を広げよう」、《オンラインマニュアル》

## 3 キーを押しながら電源スイッチを押して実行する

1 本装置の電源を切る

2 ACアダプターと電源コードを接続する

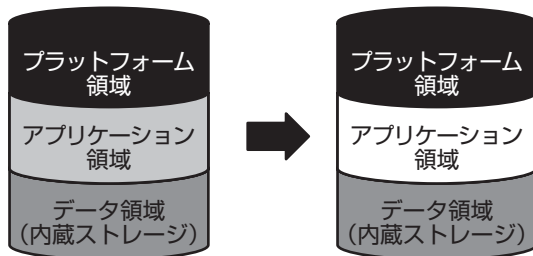
3 キーボードの  キーを押しながら電源スイッチを1回押す

 キーは画面にメッセージが表示されるまで押し続けてください。

4 キーボードの  キーを押す

次の処理が実行されます。

- ・アプリケーション領域のみが消去される。



購入後にインストールしたアプリケーションと各種設定のみが消去されます。

初期化が実行されます。初期化実行中を示す画面が表示されますが、Androidのセットアップ画面が表示されるまで、お待ちください。  
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

### 5 Androidのセットアップを行う

参照 ▶ 「1章 4 - 1 - 4 Androidのセットアップ」

周辺機器の接続や、購入後に追加したアプリケーションのインストールなどは、Androidのセットアップ後に行ってください。

参照 ▶ 周辺機器の接続「3章 周辺機器を使って機能を広げよう」、《オンラインマニュアル》

# 4

## 初期化をしたあとは

初期化をしたあとは必要に応じて、バックアップしておいたデータを復元します。

**参照** ▶ 詳細について「本章 **2** - **2** 初期化の流れ」

### 1 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、[設定とアプリケーションの保存] で作成した zip ファイルも含め、外部記録メディアに退避しておいたすべてのファイルを「TOSHIBA File Manager」で [内蔵ストレージ] フォルダー内にコピーしてください。その後、[設定とアプリケーションの保存] で作成した zip ファイルを復元ください。

**参照** ▶ 詳細について《オンラインマニュアル》

#### 4章

買ったときの状態に戻すには  
—初期化—

# 5章

## 困ったときは

本製品の操作をされていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。

また、本製品を捨てるときや人に譲るときに知っておいて欲しいことを説明しています。

- 1 トラブルを解消するまでの流れ..... 74
- 2 Q&A集..... 79
- 3 捨てるとき／人に譲るとき ..... 89
- 4 お問い合わせ先  
-プラットフォーム／アプリケーション- ..... 91



# 1

## トラブルを解消するまでの流れ

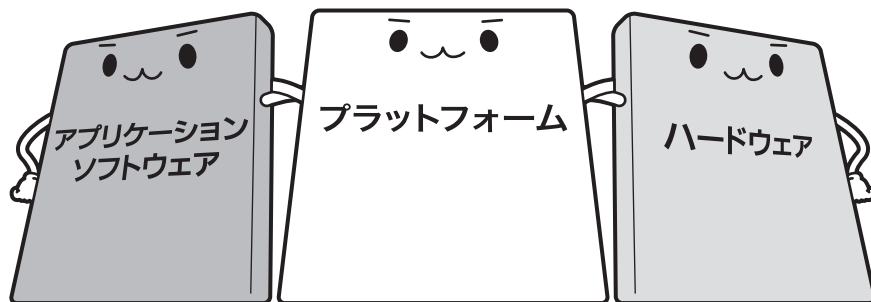
本製品に起こったトラブルについて、解決方法を見つけていきましょう。

### 1 トラブルの原因をつき止めよう

本製品に起こるトラブルは、その原因がどこにあるかによって解決策が異なります。そのために、本製品の構造をある程度知っておく必要があります。

ここでは、本製品の構成と、それぞれの構成部分で起こるトラブルの例、その解決方法を紹介します。

#### ■ 本製品を構成する3つの部分



##### ● アプリケーションソフトウェアとは

メールやインターネットは、アプリケーションソフトウェアの機能です。文書作成ソフトや表計算ソフト、ウイルスチェックソフトもアプリケーションソフトウェアの代表的なものです。それぞれ製造元が異なります。

##### ● プラットフォームとは

本製品を動かすための基本的な環境を指します。本製品のプラットフォームはAndroid 2.1です。

##### ● ハードウェアとは

バッテリーやACアダプターはもちろん、画面（ディスプレイ）、キーボード、内蔵フラッシュメモリ、CPUなど、本製品の本体を指します。

本製品はこれらの高度な技術の集合体です。トラブルの原因がそれぞれの製造元にしかわからない場合も多くあります。トラブルの症状に合わせた対処をすることが解決への早道です。

トラブルの解決には、最初に原因の切り分けを行います。一般的にはアプリケーションソフトウェア→プラットフォーム→本製品の本体の順にチェックします。

## STEP1 アプリケーションソフトウェアに原因がある場合

## トラブル

例1: メールやインターネットがつながらない

アクセスポイントやメールサーバー、ID、パスワードなどの設定を確認します。これらの設定は契約プロバイダーごとに異なります。契約プロバイダーから指定された設定データが正しく本製品の設定に反映されているかを確認してください。

## 解消法

例1: プロバイダーへのお問い合わせについて

お客様ご契約のプロバイダーの窓口へお問い合わせください。

例2: アプリケーションの使いかたがわからない

各アプリケーションのヘルプなどで使いかたを確認します。

例2: アプリケーションの使いかたについて

各アプリケーションのヘルプで操作方法を確認したり、各アプリケーションのサポート窓口へお問い合わせください。

**参照** アプリケーションのお問い合わせ先  
「本章 4 お問い合わせ先」

## STEP2 プラットフォームに原因がある場合

### トラブル

例3：正常に画面が表示されない、音が出ない、設定が合っているのにインターネットにつながらない

### 解消法

例3：動作に影響を与えているアプリケーションや周辺機器を調べる

周辺機器やソフトをインストールしたあとに起こることが多いものです。その前に行った作業を一度元に戻すことでトラブルが解消される場合が少なくありません。

周辺機器を取りはずしたり、電源を入れ直すことで調べることができます。



### 例3：初期化をする

各種設定や購入後に追加したアプリケーションが壊れている可能性があります。初期化を行うことにより、これらを削除することができます。



それでもトラブルが解消しない場合には、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

**参照**▶『サポートガイド』

**STEP3 本製品の本体に原因がある場合**

**トラブル**

例4：初期化しても機器が動かない


**解消法**

例4：問い合わせる

東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

**参照**▶『サポートガイド』

周辺機器が動作しない場合は、各周辺機器のサポート窓口へお問い合わせください。

.....  
例5：Power  LEDが点灯せず、本製品がまったく動作しない

▶ トラブルが解消しない、あるいはまったく本製品が動作しない場合は、本製品の本体が故障している可能性があります。

本製品の操作について、困ったときや修理のご依頼は東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

**参照**▶『サポートガイド』

## 2 トラブル対処法

トラブルが発生したときの解決手順を紹介します。


### STEP1 本書を読む

本書では、トラブルの解決方法をQ&A形式で説明しています。

**参照**▶ 「本章 2 Q&A集」

### STEP2 「オンラインマニュアル」を読む

本製品には『dynabookガイド』（本書）と「オンラインマニュアル」があります。「オンラインマニュアル」も読んでください。

「オンラインマニュアル」は、本製品の電源を入れた状態で、デスクトップ上の《オンラインマニュアル》のアイコン（）をクリックすると起動できます。

### STEP3 サポートのサイトで調べる

本製品独自のサポートサイト「サポート情報」Webページへ接続すると、各種サポート情報から解決方法を探ることができます。

[http://dynabook.com/assistpc/mid/index\\_j.htm](http://dynabook.com/assistpc/mid/index_j.htm)

本製品の「サポート情報」Webページでは、よくあるご質問（FAQ）や問い合わせ先、修理のご依頼など、本製品のご使用にあたってのサービス・サポート情報をご提供しています。

\* あらかじめインターネットへの接続設定を行ってください。

**参照**▶ 詳細について『サポートガイド』

それでもトラブルが解消しない場合は、お問い合わせください。

本製品に用意されているアプリケーションのお問い合わせ先は「本章 4 お問い合わせ先」で確認してください。

ここに掲載しているQ&A集のほかに、「オンラインマニュアル」にもQ&A集があります。

<b>1</b>	<b>電源を入れるとき／切るとき</b> .....	<b>81</b>
	Q 電源スイッチを押して指をはなしても、Power LEDが点灯しない.....	81
	Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう 電源が入らない.....	81
	Q 電源を入れたが、本製品が起動しない .....	82
	Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある .....	82
	Q しばらく操作しないとき、電源が切れる.....	82
<b>2</b>	<b>画面／表示</b> .....	<b>83</b>
	Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった.....	83
	Q テレビまたは外部ディスプレイを接続した状態で、 本製品をサスペンドから復帰したとき、 本体液晶ディスプレイに何も表示されない.....	83
	Q 画面が薄暗く、よく見えない.....	83
<b>3</b>	<b>プラットフォーム／内蔵フラッシュメモリ</b> .....	<b>84</b>
	Q 本製品が応答しなくなった.....	84
	Q 電源を入れ直しても、トラブルが解消しない.....	84
<b>4</b>	<b>キーボード</b> .....	<b>85</b>
	Q キーを押しても反応がない.....	85
	Q キーボードから文字を入力しているときにカーソルがとんでしまう .....	85
	Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった.....	85
<b>5</b>	<b>タッチパッド／マウス</b> .....	<b>85</b>
	Q クリックしても反応がない.....	85
	Q レーザーマウスの反応がおかしい .....	86
	Q 光学式マウスの反応がおかしい.....	86
<b>6</b>	<b>メッセージ</b> .....	<b>87</b>
	Q その他のメッセージが表示された .....	87

<b>7</b>	<b>その他.....</b>	<b>87</b>
	Q 初期化できなくなったときは.....	87
	Q 異常な臭いや過熱に気づいた！.....	87
	Q このQ&A集を読んでも解決できない.....	88
	Q 操作できない原因がどうしてもわからない.....	88

5章

困ったときは




**役立つ操作集**

「オンラインマニュアル」の「Q&A集」を見てみよう

本書のQ&A集を見ても知りたいことが見つからない場合は、本製品で「オンラインマニュアル」の「Q&A集」を見てみましょう。

インターネットに接続しなくても閲覧できるため、操作も簡単です。

- ① デスクトップ上の《オンラインマニュアル》のアイコン（）をクリックする  
「オンラインマニュアル」が起動します。

もくじで「Q&A集」のページを確認し、移動してください。

# 1 電源を入れるとき／切るとき

## Q 電源スイッチを押して指をはなしても、Power LEDが点灯しない

- A**▶ 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。  
確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

## Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう 電源が入らない

- A**▶ バッテリーの充電量が少ない可能性があります。  
次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用のACアダプターを接続して、電源を供給する  
(他製品用のACアダプターは使用できません)
- 充電済みのバッテリーパックを取り付ける

**参照**▶ バッテリーの充電について《オンラインマニュアル》

- A**▶ 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、本製品が自動的に停止します。

本製品が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるのを待ってください。

- A**▶ 本製品からいったん、電源コードとACアダプター、バッテリーパックをすべて取りはずしてください。

- ① 電源コードとACアダプターを取りはずす

本製品に接続している周辺機器も取りはずしてください。

- ② バッテリーパックを取りはずす

電源コードとACアダプター、バッテリーパックを取りはずすと、電源が入らない状態になります。そのままの状態ですばらく放置してください。

- ③ バッテリーパックを取り付ける

- ④ 電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

- ⑤ 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。Power LEDが点灯することを確認してください。

**参照**▶ 電源コードとACアダプターの接続

「1章 4 - ① - 2 電源コードとACアダプターを接続する」

**参照**▶ バッテリーパックの取り付け／取りはずしについて

「3章 2 - ② バッテリーパックを交換する」

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

## Q 電源を入れたが、本製品が起動しない

**A**▶ 各種設定が壊れている可能性があります。以下の方法で初期化を実行してください。ただし、この方法で初期化を行うと、本製品を購入後にインストールしたアプリケーションや各種設定はすべて消失します。

① キーボードの  キーを押しながら、電源スイッチを1回押す

 キーは、画面にメッセージが表示されるまで押し続けてください。

初期化を行うと各種設定が購入時の状態に戻ります。セットアップからやり直してください。初期化をしても本製品が起動しない場合は、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

**参照**▶ 『サポートガイド』

## Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

**A**▶ 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、本製品が自動的に停止します。

本製品が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるのを待ってください。

それでも電源が切れる場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

**A**▶ バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用のACアダプターを接続して、電源を供給する  
(他製品用のACアダプターは使用できません)
- 充電済みのバッテリーパックを取り付ける

**参照**▶ バッテリーの充電について《オンラインマニュアル》

## Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

**A**▶ Power LEDが白色に点灯している場合、省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

 キーを押すか、タッチパッドをクリックすると表示が復帰します。

テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

## 2 画面／表示

## Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

## A▶ 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらくタッチパッドやキーボードを操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。

 キーを押すか、タッチパッドをクリックすると表示が復帰します。

テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

## A▶ 表示装置が適切に設定されていない可能性があります。

 キーを押して、表示装置を本体液晶ディスプレイに切り替えてください。

**参照**▶ 詳細について《オンラインマニュアル》

## Q テレビまたは外部ディスプレイを接続した状態で、本製品をサスペンドから復帰したとき、本体液晶ディスプレイに何も表示されない

## A▶ テレビまたは外部ディスプレイに、画面表示が切り替わっている可能性があります。

テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れて確認してください。本製品の画面が表示されていた場合は、《オンラインマニュアル》を参照して、本体液晶ディスプレイに表示を切り替えてください。

## Q 画面が薄暗く、よく見えない

A▶  キーを押して、本体液晶ディスプレイ(画面)の輝度を明るくしてください\*1。

 キーを押すと、逆に、本体液晶ディスプレイの輝度は暗くなります。

\*1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

## 3 プラットフォーム／内蔵フラッシュメモリ

## Q 本製品が応答しなくなった

**A**▶ いったん電源を切り、本製品を起動しなおしてください。

**A**▶ 本製品の起動時に問題が起きた場合は、以下の手順を実行し、強制終了してください。

本製品が操作できなくなったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、サスペンドは無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

- ① 電源ボタンを6秒以上押す  
本製品が強制終了されます。

**A**▶ 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

## Q 電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

**A**▶ プラットフォームのアップデート中（更新中）にトラブルが発生した場合は、初期化を実行し、いったん購入時の状態に戻してください。その後アップデートを実行してください。

**A**▶ アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがプラットフォームに影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

**参照**▶ アンインストール『アプリケーションに付属の説明書』

**A**▶ 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がプラットフォームに影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。

**参照**▶ 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属の説明書』

## 4 キーボード

## Q キーを押しても反応がない


**A**▶ プラットフォームが処理中の可能性があります。


プラットフォームが処理をしている状態のため、キーボードやタッチパッドなどの操作を受け付けないときがあります。プラットフォームの処理が終わるまで待つてから操作してください。

## Q キーボードから文字を入力しているときにカーソルがとんでしまう

**A**▶ 文字を入力しているときに誤ってタッチパッドに触れると、カーソルがとんでしまうことがあります。

次の手順でタッチパッドを無効に切り替えてください。

①  キーを押す

タッチパッドが無効になります。タッチパッドを有効にするにはもう一度  キーを押します。

## Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった

**A**▶ 飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。

もし、液体が本製品内部に入ったときは、ただちに電源を切り、ACアダプターとバッテリーパックを取りはずして、東芝PCあんしんサポートにご相談ください。

## 5 タッチパッド/マウス

\* マウスは、モデルによって別売りです。

## Q クリックしても反応がない

**A**▶ プラットフォームが処理中の可能性があります。


プラットフォームが処理をしている状態のため、タッチパッド、マウス、キーボードなどの操作を受け付けないときがあります。プラットフォームの処理が終わるまで待つてから操作してください。


**A**▶ マウスが正しく接続されていない可能性があります。

マウスと本製品が正しく接続されていないと、マウスの操作はできません。マウスのプラグを正しく接続してください。

**A**→ タッチパッドのみ操作を受け付けない場合、タッチパッドが無効に設定されている可能性があります。

次の手順でタッチパッドを有効に切り替えてください。

①  キーを押す

タッチパッドが有効になります。タッチパッドを無効にするにはもう一度  キーを押します。

## Q レーザーマウスの反応がおかしい

**A**→ 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。

反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインターがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、鏡など）

**A**→ 平らな場所でマウスを操作しているか確認してください。

マウスは、平らな場所で操作してください。マウスの下にゴミなどがある場合は取り除いてください。

## Q 光学式マウスの反応がおかしい

**A**→ 光の反射が正しく認識されていない可能性があります。

反射しにくい素材の上で使うと正しくセンサーが働かず、ポインターがうまく動きません。次のような場所では動作が不安定になる場合があります。

- 光沢のある表面（ガラス、研磨した金属、ラミネート、光沢紙、プラスチックなど）
- 画像パターンの変化が非常に少ない表面（人工大理石、新品のオフィスデスクなど）
- 画像パターンの方向性が強い表面（正目の木材、立体映像の入ったマウスパッドなど）

明るめの色のマウスパッドや紙など、光の反射を認識しやすい素材を使ったものの上で使用してください。

光学式マウスに対応したマウスパッドの使用を推奨します。

光学式マウスに対応していないものやマウスパッドの模様によっては、正常に動作しない場合があります。

**A**→ 平らな場所でマウスを操作しているか確認してください。

マウスは、平らな場所で操作してください。マウスの下にゴミなどがある場合は取り除いてください。

## 6 メッセージ

### Q その他のメッセージが表示された

**A**▶ 使用しているプラットフォームやアプリケーションの説明書を確認してください。

## 7 その他

### Q 初期化できなくなったときは

**A**▶ 内蔵フラッシュメモリに搭載されている初期化ツールのデータが破損している可能性があります。

東芝PCあんしんサポートに相談してください。

**参照**▶ 修理のお問い合わせについて『サポートガイド』

### Q 異常な臭いや過熱に気づいた！

**A**▶ 本製品、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリーパックを本製品から取りはずしてから東芝PCあんしんサポートに相談してください。

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

**参照**▶ 修理のお問い合わせについて『サポートガイド』

## Q このQ&A集を読んでも解決できない

**A**➡ このほかにもいろいろな解決方法があります。

### 1 「オンラインマニュアル」を見る

「オンラインマニュアル」が見られる場合は、確認してみてください。

### 2 「サポート情報」Webページの「よくあるご質問（FAQ）」を調べる

インターネットに接続できるときは、「サポート情報」Webページでサポート情報を見てください。お問い合わせの多い質問やホットなQ&Aが掲載されています。

**参照**➡ 『サポートガイド』

### 3 東芝PCあんしんサポートに電話する

本製品の本体のトラブルは、東芝PCあんしんサポートでお答えします。『サポートガイド』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

**参照**➡ 『サポートガイド』

## 5章

## 困ったときは

## Q 操作できない原因がどうしてもわからない

**A**➡ 本製品の本体のトラブルの場合は、『サポートガイド』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

**A**➡ アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

**参照**➡ アプリケーションのお問い合わせ先「本章 **4** お問い合わせ先」

**A**➡ 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

**参照**➡ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

## 1 お客様登録の削除について

## ● ホームページから削除する

東芝ID (TID) をお持ちの場合はこちらからお願いします。

① インターネットで「<http://room1048.jp>」へ接続する

② [ログイン] ボタンをクリックする

[セキュリティの警告] 画面が表示された場合は、内容を確認し、[OK] ボタンをクリックしてください。

③ [東芝ID (TID)] と [パスワード] に入力し、[ログイン] ボタンをクリックする  
お客様専用ページにログインします。

④ ページ右上の [登録情報変更] をクリックする  
[登録情報変更メニュー] 画面が表示されます。

⑤ [退会] をクリックし、登録を削除する

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、「登録情報変更メニュー」で商品削除を行ってください。

※ TIDを退会されますと、「Shop1048」でのTID会員メニュー、およびポイントサービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

## ● 電話で削除する

「東芝ID事務局 (お客様情報変更)」までご連絡ください。

## ● 東芝ID事務局 (お客様情報変更)

TEL : 0570-09-1048 (ナビダイヤル)

受付時間 : 10:00~17:00 (土・日、祝日、東芝特別休日を除く)

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。

技術的なご相談や修理に関するお問い合わせは、『サポートガイド』を確認してください。

またリサイクルに関しては、『サポートガイド』を参照してください。



## メモ 法人のお客様の場合

## ● 法人のお客様の場合は、ログインで表示される画面が異なります。

登録情報の変更および退会は「登録情報変更」のメニューで、ご自身で行っていただくことができますが、商品の削除ができませんので、その場合は東芝ID事務局までお電話でご連絡くださいますようお願いいたします。

詳しくは、次のホームページを参照してください。

URL : <https://room1048.jp/onetoone/info/business.htm>

## 2 本製品を購入時の状態に戻す

廃棄／譲渡する前に、本製品を購入時の状態に戻したい場合は、[設定] タブ→ [設定] → [プライバシー] → [データの初期化] で [すべて消去 (内蔵ストレージ内のすべてのユーザーデータを含みます)] をクリックして、初期化を実行してください。

**参照**▶ 詳細について「4章 3 - 2 [データの初期化] を実行する」

# 4

## お問い合わせ先

### —プラットフォーム／アプリケーション—

本製品に用意されているプラットフォーム、アプリケーションのお問い合わせ先を紹介しています。

各アプリケーションを使っていて困ったときは、こちらに連絡してください。

\* 2010年7月現在の内容です。

各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

## 1 プラットフォームのお問い合わせ先

Androidについてのサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。

[http://dynabook.com/assistpc/mid/index\\_j.htm](http://dynabook.com/assistpc/mid/index_j.htm)

Androidに関する一般的なお問い合わせは、東芝PCあんしんサポートになります。

## 5章

### 困ったときは

## 2 アプリケーションのお問い合わせ先

各アプリケーションのユーザー登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。

インストールされているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

### FSKAREN

#### 富士ソフト株式会社 FSKAREN問合せ窓口

ホームページ : <http://www.fsi.co.jp/karen>

上記ホームページ上にある、資料請求・お問合せフォームに必要な事項、ご使用されている機器を明記の上、お問い合わせ下さい。

### デ辞蔵

#### イースト株式会社 デ辞蔵サポート係

受付時間 : 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始などの休業日を除く）

E-mail : [dejizosupport@est.co.jp](mailto:dejizosupport@est.co.jp)

ホームページ : <https://dejizo.jp/contact.aspx>（お問合せページ）

### 上記以外のアプリケーション

#### 東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号 : 0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）

おかけいただくと、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って操作してください。

技術的な質問、お問い合わせは、ガイダンスの後で **1** をプッシュしてください。

技術相談窓口 受付時間：9:00～19:00（年中無休）

[電話番号はおまちがえないよう、ご確認の上おかけください]

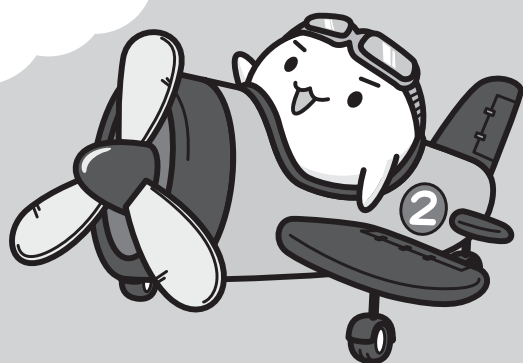
海外からの電話、携帯電話、PHS、または直回収線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。日程は、[dynabook.com](http://dynabook.com)「サポート情報」([http://dynabook.com/assistpc/index\\_j.htm](http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm))にてお知らせいたします。

# 付録

本製品の機能を使用するにあたってのお願いや技術基準適合などについて記しています。

1	ご使用にあたってのお願い	94
2	技術基準適合について	97
3	無線LANについて	99
4	Bluetoothについて	108
5	外形寸法図	115



# 1

## ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

### 1 本製品の本体について

#### スイッチの操作にあたって

- スイッチを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使わないでください。スイッチが故障するおそれがあります。

#### 機器への強い衝撃や外圧について

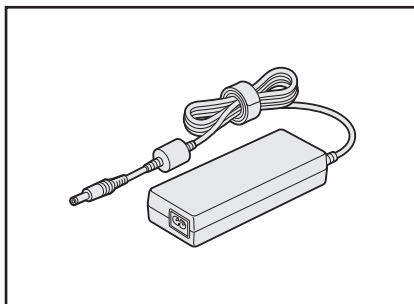
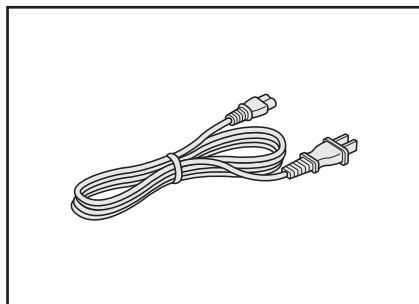
- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- 本製品の表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

#### タッチパッドの操作にあたって

- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使わないでください。タッチパッドが故障するおそれがあります。

### 2 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。



電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより異なります。

### 3 周辺機器について

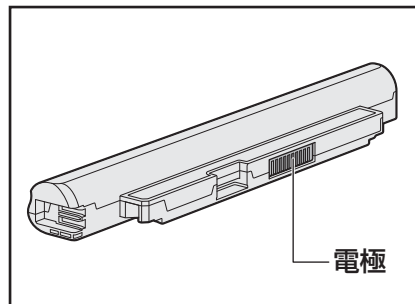
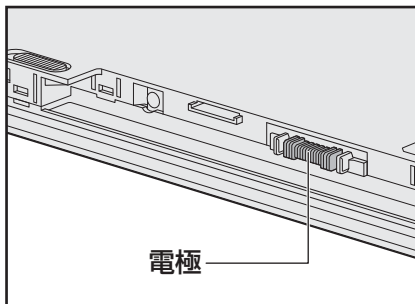
#### 周辺機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は周辺機器によって違います。3章および《オンラインマニュアル》を読んでから作業をしてください。またその際には、次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
  - ・ ホットインサージョンに対応していない周辺機器を接続する場合は、必ず本製品の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサージョンとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
  - ・ 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
  - ・ ホコリが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
  - ・ 極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
  - ・ 静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
  - ・ 本製品に取り付けられているネジは、取りはずさないでください。
  - ・ 本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
  - ・ 本製品のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
  - ・ 本製品のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

### 4 バッテリーについて

#### バッテリーを使用するにあたって

- バッテリーパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントからはずし、電源コネクタからACアダプタープラグを抜いてから作業を行ってください。サスペンドを実行している場合は、バッテリーパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- 電極に手を触れないでください。故障の原因になります。



## 1 ご使用にあたってのお願い

- バッテリーパックを本製品に取り付けるときは、バッテリー安全ロックがロック側になっていることを必ず確認してください。  
安全ロックがロック側になっていないと、持ち運びのときにバッテリーパックがはずれて落ちるおそれがあります。

**参照**▶ 詳細について「3章 **2** - **2** バッテリーパックを交換する」

- バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。  
バッテリーを使いきってしまうと、サスペンドが効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時計用バッテリーを使いきってしまうと、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、ACアダプターを接続してバッテリーと時計用バッテリーを充電してください。

## バッテリーを充電するにあたって

- バッテリーパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。  
バッテリーは5～35℃の室温で充電してください。

社団法人 電子情報技術産業協会の「バッテリー関連Q&A集」について  
<http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/battery/menu1.htm>

## 付録

## 5 画面について

- アプリケーションや各種設定の画面では、画面右隅にスクロールバーが表示されることがありますが、このバーをドラッグして画面を縦方向にスクロールすることはできません。

## 6 バックアップについて

### バックアップをとるにあたって

- 内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。  
内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

「オンラインマニュアル」にも技術基準適合に関する説明が記載されています。本書だけでなく、「オンラインマニュアル」の記載もあわせてご確認ください。

### ■ 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

### ■ 高調波対策について

参照 ▶ 《オンラインマニュアル》

### ■ 電波障害自主規制について

参照 ▶ 《オンラインマニュアル》

### ■ EU Declaration of Conformity



This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is TOSHIBA Europe GmbH, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany. The complete and official EU Declaration of Conformity can be found on TOSHIBA's web site

<http://epps.toshiba-teg.com> on the Internet.

## CE compliance

This product is labelled with the CE Mark in accordance with the related European Directives, notably Electromagnetic Compatibility Directive 2004/108/EC for the notebook and the electronic accessories including the supplied power adapter, the Radio Equipment and Telecommunications Terminal Equipment Directive 1999/5/EC in case of implemented telecommunication accessories and the Low Voltage Directive 2006/95/EC for the supplied power adapter. Furthermore the product complies with the Ecodesign Directive 2009/125/EC (ErP) and its related implementing measures.

This product and the original options are designed to observe the related EMC (Electromagnetic Compatibility) and safety standards. However, TOSHIBA cannot guarantee that this product still observes these EMC standards if options or cables not produced by TOSHIBA are connected or implemented. In this case the persons who have connected/implemented those options/cables have to provide assurance that the system (PC plus options/cables) still fulfils the required standards. To avoid general EMC problems, the following guidance should be noted:

- Only CE marked options should be connected/implemented
- Only best shielded cables should be connected

## Working environment

This product was designed to fulfil the EMC (Electromagnetic Compatibility) requirements to be observed for so-called “Residential, commercial and light industry environments”. TOSHIBA do not approve the use of this product in working environments other than the above mentioned “Residential, commercial and light industry environments”.

For example, the following environments are not approved:

- Industrial Environments (e.g. environments where a mains voltage of 380 V three-phase is used)
- Medical Environments
- Automotive Environments
- Aircraft Environments

Any consequences resulting from the use of this product in working environments that are not approved are not the responsibility of TOSHIBA.

The consequences of the use of this product in non-approved working environments may be:

- Interference with other devices or machines in the near surrounding area.
- Malfunction of, or data loss from, this product caused by disturbances generated by other devices or machines in the near surrounding area.

Therefore TOSHIBA strongly recommend that the electromagnetic compatibility of this product should be suitably tested in all non-approved working environments before use. In the case of automobiles or aircraft, the manufacturer or airline respectively should be asked for permission before use of this product.

Furthermore, for general safety reasons, the use of this product in environments with explosive atmospheres is not permitted.

# 3

# 無線LANについて

\* 無線LANモデルのみ

## 1 無線LANの概要

本製品には、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11nのすべて、もしくはその一部に準拠した無線LANモジュールが内蔵されています。次の機能をサポートしています。

- 周波数チャネル選択
- マルチチャネル間のローミング
- パワーマネージメント

## 2 無線特性

無線LANの無線特性は、製品を購入した国／地域、購入した製品の種類により異なる場合があります。

多くの場合、無線通信は使用する国／地域の無線規制の対象になります。無線ネットワーク機器は、無線免許の必要ない2.4GHz帯で動作するように設計されていますが、国／地域の無線規制により無線ネットワーク機器の使用に多くの制限が課される場合があります。

無線周波数帯	IEEE802.11b, IEEE802.11g, IEEE802.11n	2.4GHz (2400-2483MHz)
変調方式	IEEE802.11g	直交周波数分割多重方式 OFDM-BPSK, OFDM-QPSK, OFDM-16QAM, OFDM-64QAM
	IEEE802.11b	直接拡散方式 DSSS-CCK, DSSS-DQPSK, DSSS-DBPSK
	IEEE802.11n	直交周波数分割多重方式 (OFDM方式), 空間多重方式 (MIMO方式)

無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。



メモ

- アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る"障害物"がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

**3 サポートする周波数帯域**

無線LANがサポートする2.4GHz帯のチャンネルは、国／地域で適用される無線規制によって異なる場合があります（表「無線IEEE802.11 チャンネルセット」参照）。

**■ 無線IEEE802.11 チャンネルセット**

- 2.4GHz帯：2400-2483MHz（IEEE802.11b/g、IEEE802.11nの場合）

チャンネルID	周波数
1	2412
2	2417
3	2422
4	2427
5	2432
6	2437
7	2442
8	2447
9	2452
10	2457* <sup>1</sup>
11	2462
12	2467
13	2472

## 4 本製品を日本でお使いの場合のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz～2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz～2,470.75MHzと重複しています。

### ■ステッカー

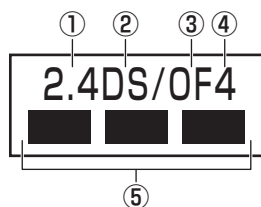
本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に付属されている次のステッカーを本製品の本体に貼り付けてください。

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

### ■現品表示

本製品には、次に示す現品表示が記載されています。



- ① 2.4 : 2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
- ② DS : 変調方式がDS-SS方式であることを示す。
- ③ OF : 変調方式がOFDM方式であることを示す。
- ④ 4 : 想定される与干渉距離が40m以下であることを示す。
- ⑤ ■ ■ ■ : 2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

### ■東芝PCあんしんサポート

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、『サポートガイド』を参照してください。

## 5 機器認証表示について

本製品には、電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局として、認証を受けた無線設備を内蔵しています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

### ■ Bluetoothモデルの場合

無線設備名 : MS-3871

財団法人電気通信端末機器審査協会

認証番号 : D10-0121001

### ■ Bluetooth機能を搭載していないモデルの場合

無線設備名 : MS-3822

財団法人電気通信端末機器審査協会

認証番号 : D10-0030001

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局として工事設計の認証を取得しています。したがって、組み込まれた無線設備をほかの機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触するおそれがありますので、十分にご注意ください。

## 6 お知らせ

### 無線製品の相互運用性

本製品に内蔵されている無線LANモジュールは、Direct Sequence Spread Spectrum (DSSS) / Orthogonal Frequency Division Multiplexing (OFDM) 無線技術を使用するあらゆる無線LAN製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Institute of Electrical and Electronics Engineers (米国電気電子技術者協会) 策定の IEEE802.11 Standard on Wireless LANs (Revision b/g/n) (無線LAN標準規格 (版数 b/g/n))
- Wi-Fi Allianceの定義するWireless Fidelity (Wi-Fi) 認証 Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの認定マークです。

## 健康への影響

本製品に内蔵されている無線LANモジュールは、ほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルに抑えられています。

本製品に内蔵されている無線LANモジュールの動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。

ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者がWireless LANの使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中でWireless LAN装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、Wireless LAN装置の電源を入れる前に、個々の組織または施設環境の管理者に対して、本製品の使用可否について確認してください。

## 規制に関する情報

本製品に内蔵されている無線LANモジュールのインストールと使用に際しては、必ず製品付属の取扱説明書に記載されている製造元の指示に従ってください。本製品は、無線周波基準と安全基準に準拠しています。

### ● Canada - Industry Canada (IC)

This device complies with RSS 210 of Industry Canada.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference , and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device.

The term "IC" before the equipment certification number only signifies that the Industry Canada technical specifications were met.

**● USA - Federal Communications Commission (FCC)**

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy. If not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by tuning the equipment off and on, the user is encouraged to try and correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

TOSHIBA is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized modification of the devices included with this the Wireless LAN, or the substitution or attachment of connecting cables and equipment other than specified by TOSHIBA.

The correction of interference caused by such unauthorized modification, substitution or attachment will be the responsibility of the user.

**Caution: Exposure to Radio Frequency Radiation.**

The radiated output power of the Wireless LAN is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the Wireless LAN shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized.

In the usual operating configuration, the distance between the antenna and the user should not be less than 20cm. Please refer to the PC user's manual for the details regarding antenna location.

The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada's website

[www.hc-sc.gc.ca/](http://www.hc-sc.gc.ca/)

## ● Europe

### Restrictions for Use of 2.4GHz Frequencies in European Community Countries

België/ Belgique:	For private usage outside buildings across public grounds over less than 300m no special registration with IBPT/BIPT is required. Registration to IBPT/BIPT is required for private usage outside buildings across public grounds over more than 300m. For registration and license please contact IBPT/BIPT.  Voor privé-gebruik buiten gebouw over publieke grond over afstand kleiner dan 300m geen registratie bij BIPT/IBPT nodig; voor gebruik over afstand groter dan 300m is wel registratie bij BIPT/IBPT nodig. Voor registratie of licentie kunt u contact opnemen met BIPT.  Dans le cas d'une utilisation privée, à l'extérieur d'un bâtiment, au-dessus d'un espace public, aucun enregistrement n'est nécessaire pour une distance de moins de 300m. Pour une distance supérieure à 300m un enregistrement auprès de l'IBPT est requise. Pour les enregistrements et licences, veuillez contacter l'IBPT.
Deutschland:	License required for outdoor installations. Check with reseller for procedure to follow.  Anmeldung im Outdoor-Bereich notwendig, aber nicht genehmigungspflichtig. Bitte mit Händler die Vorgehensweise abstimmen.
France:	Restricted frequency band: only channels 1 to 7 (2400 MHz and 2454 MHz respectively) may be used outdoors in France.  Bande de fréquence restreinte : seuls les canaux 1-7 (2400 et 2454 MHz respectivement) doivent être utilisés endroits extérieur en France. Vous pouvez contacter l'Autorité de Régulation des Télécommunications ( <a href="http://www.art-telecom.fr">http://www.art-telecom.fr</a> ) pour la procédure à suivre.
Italia:	License required for indoor use. Use with outdoor installations not allowed.  E'necessaria la concessione ministeriale anche per l'uso interno. Verificare con i rivenditori la procedura da seguire.
Nederland	License required for outdoor installations. Check with reseller for procedure to follow.  Licentie verplicht voor gebruik met buitenantennes. Neem contact op met verkoper voor juiste procedure.

To remain in conformance with European spectrum usage laws for Wireless LAN operation, the above 2.4GHz channel limitations apply for outdoor usage. The user should use the Wireless LAN utility to check the current channel of operation. If operation is occurring outside of the allowable frequencies for outdoor use, as listed above, the user must contact the applicable national spectrum regulator to request a license for outdoor operation.

### ● Taiwan

#### Article 12

Without permission granted by the NCC, any company, enterprise, or user is not allowed to change frequency, enhance transmitting power or alter original characteristic as well as performance to an approved low power radio-frequency devices.

#### Article 14

The low power radio-frequency devices shall not influence aircraft security and interfere legal communications;

If found, the user shall cease operating immediately until no interference is achieved.

The said legal communications means radio communications is operated in compliance with the Telecommunications Act.

The low power radio-frequency devices must be susceptible with the interference from legal communications or ISM radio wave radiated devices.

## 7 使用できる国／地域について

## お願い

- 本製品は、次にあげる国／地域の無線規格を取得しております。これらの国／地域以外では使用できません。

## ■ Bluetooth モデルの場合

アメリカ	カザフスタン	スロベニア	パナマ	マケドニア
アイスランド	カナダ	セネガル	ハンガリー	マルタ
アイルランド	キプロス	台湾	フィンランド	モザンビーク
イエメン	ギリシャ	チェコ	プエルトリコ	モナコ
イギリス	グアテマラ	デンマーク	フランス	ラトビア
イタリア	コロンビア	ドイツ	ブルガリア	リトアニア
エストニア	ジンバブエ	ドミニカ	ベルギー	リヒテンシュタイン
エルサルバドル	スイス	トルコ	ポーランド	ルーマニア
オーストラリア	スウェーデン	ナイジェリア	ボリビア	ルクセンブルク
オーストリア	スペイン	日本	ポルトガル	レソト
オランダ	スリランカ	ニュージーランド	香港	
ガーナ	スロバキア	ノルウェー	ホンジュラス	

(2010年7月現在)

- インフラストラクチャ通信は、Ch1～Ch13で使用できます。

## ■ Bluetooth 機能を搭載していないモデルの場合

アメリカ	カザフスタン	スロバキア	ノルウェー	ホンジュラス
アイスランド	カナダ	スロベニア	パナマ	マケドニア
アイルランド	キプロス	セネガル	ハンガリー	マルタ
イエメン	ギリシャ	台湾	フィンランド	モザンビーク
イギリス	グアテマラ	チェコ	プエルトリコ	モナコ
イタリア	コロンビア	デンマーク	フランス	ラトビア
エストニア	シンガポール	ドイツ	ブルガリア	リトアニア
エルサルバドル	ジンバブエ	ドミニカ	ベルギー	リヒテンシュタイン
オーストラリア	スイス	トルコ	ポーランド	ルーマニア
オーストリア	スウェーデン	ナミビア	ボリビア	ルクセンブルク
オランダ	スペイン	日本	ポルトガル	レソト
ガーナ	スリランカ	ニュージーランド	香港	

(2010年7月現在)

- インフラストラクチャ通信は、Ch1～Ch13で使用できます。

# 4

# Bluetooth について

\* Bluetooth モデルのみ

## 1 物理仕様

ワイヤレス通信	通信方式	Bluetooth Specification Ver.2.1+EDR
	無線周波数帯	2.4GHz (2402~2480MHz)
	変調方式	周波数ホッピング方式 2値FSK
	出力* <sup>1</sup>	最大+4dBm (Power Class2)
	受信感度* <sup>1</sup>	-70dBm
	通信距離	見通し10m* <sup>2</sup>
電源電圧	3.3V	
消費電力	最大200mA	

\*<sup>1</sup> アンテナの効率は含まれません。

\*<sup>2</sup> 周囲の電波環境、障害物、設置環境などにより異なります。

付録

## 2 無線特性

Bluetooth モジュールの無線特性は、製品を購入した国、購入した製品の種類により異なる場合があります。

多くの場合、無線通信は国/地域によって使用が規制されています。無線ネットワーク機器は、無線免許の必要ない2.4GHz 帯で動作するように設計されていますが、国/地域の無線規制により無線ネットワーク機器の使用に多くの制限が課される場合があります。

本製品のBluetooth 通信機能が使用できる国/地域については、「本節 **6** 使用できる国/地域について」を確認してください。

無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広くなります。



メモ

- アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る"障害物"がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

### 3 本製品を日本でお使いの場合のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz～2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局及び移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz～2,470.75MHzと重複しています。

#### ■ステッカー

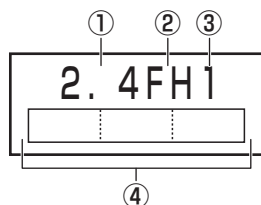
本製品を日本国内にてご使用の際には、本製品に付属されている次のステッカーを本製品の本体に貼り付けてください。

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

#### ■現品表示

本製品には、次に示す現品表示が記載されています。



- ① 2.4 : 2,400MHz帯を使用する無線設備を表す。
- ② FH : 変調方式がFH-SS方式であることを示す。
- ③ 1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示す。
- ④  : 2,400MHz～2,483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

#### ■東芝PCあんしんサポート

東芝PCあんしんサポートの連絡先は、『サポートガイド』を参照してください。

### 4 機器認証表示について

本製品は、電気通信事業法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術基準適合認証を受けております。

無線設備名 : MS-3871

財団法人電気通信端末機器審査協会

認証番号 : D10-0121001

本製品に組み込まれた無線設備は、本製品に実装して使用することを前提に、小電力データ通信システムの無線局として工事設計の認証を取得しています。したがって、組み込まれた無線設備をほかの機器へ流用した場合、電波法の規定に抵触するおそれがありますので、十分にご注意ください。

### 5 お知らせ

#### ■ 無線製品の相互運用性

Bluetooth 東芝製モジュールは、Frequency Hopping Spread Spectrum (FHSS) 無線技術を使用するあらゆるBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Bluetooth Special Interest Group策定のBluetooth Specification Ver.2.1+EDR
- Bluetooth Special Interest Groupの定義するBluetooth ワイヤレステクノロジーのLogo認証

#### メモ

- 本製品はすべてのBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

また下記の取り扱い上の注意点があります。

- (1) 本製品はBluetooth Version2.1+EDR仕様に準拠しております。  
Bluetooth Version1.0B仕様のBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器とは互換性がありません。
- (2) 2.4GHz帯のWireless-LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。
- (3) BluetoothとWireless-LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、Wireless-LANのいずれかの使用を中止してください。

## ■ 健康への影響

Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品はほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルに抑えられています。

Bluetooth 東芝製モジュールの動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。

ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者がBluetooth ワイヤレステクノロジーの使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中でBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた装置の電源を入れる前に、管理者に使用の可否について確認してください。

### Regulatory statements

#### ● General

This product complies with any mandatory product specification in any Country/ Region where the product is sold. In addition, the product complies with the following.

#### ● European Union (EU) and EFTA

This equipment complies with the R&TTE directive 1999/5/EC and has been provided with the CE mark accordingly.

#### ● Canada - Industry Canada (IC)

This device complies with RSS 210 of Industry Canada.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference , and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device."

L ' utilisation de ce dispositif est autorisee seulement aux conditions suivantes : (1) il ne doit pas produire de brouillage et (2) l' utilisateur du dispositif doit etre pret a accepter tout brouillage radioelectrique recu, meme si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.

The term "IC" before the equipment certification number only signifies that the Industry Canada technical specifications were met.

#### ● USA - Federal Communications Commission (FCC)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy. If not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by tuning the equipment off and on, the user is encouraged to try and correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the distance between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment to outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

TOSHIBA is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized modification of the devices included with this Bluetooth Card from TOSHIBA, or the substitution or attachment of connecting cables and equipment other than specified by TOSHIBA.

The correction of interference caused by such unauthorized modification, substitution or attachment will be the responsibility of the user.

**Caution: Exposure to Radio Frequency Radiation.**

The radiated output power of the Bluetooth Card from TOSHIBA is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the Bluetooth Card from TOSHIBA shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. The antenna(s) used in this device are located at the upper edge of the LCD screen, and this device has been tested as portable device as defined in Section 2.1093 of FCC rules when the LCD screen is rotated 180 degree and covered the keyboard area. In addition, Bluetooth has been tested with Wireless LAN transceiver for co-location requirements. This device and its antenna(s) must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

The installer of this radio equipment must ensure that the antenna is located or pointed such that it does not emit RF field in excess of Health Canada limits for the general population; consult Safety Code 6, obtainable from Health Canada's website

[www.hc-sc.gc.ca/](http://www.hc-sc.gc.ca/)

**● Taiwan**

Article 12 Without permission granted by the NCC, any company, enterprise, or user is not allowed to change frequency, enhance transmitting power or alter original characteristic as well as performance to a approved low power radio-frequency devices.

Article 14 The low power radio-frequency devices shall not influence aircraft security and interfere legal communications; If found, the user shall cease operating immediately until no interference is achieved.

The said legal communications means radio communications is operated in compliance with the Telecommunications Act.

The low power radio-frequency devices must be susceptible with the interference from legal communications or ISM radio wave radiated devices.

## 6 使用できる国／地域について

## お願い

- 本製品は、次にあげる国／地域の無線規格を取得しております。これらの国／地域以外では使用できません。

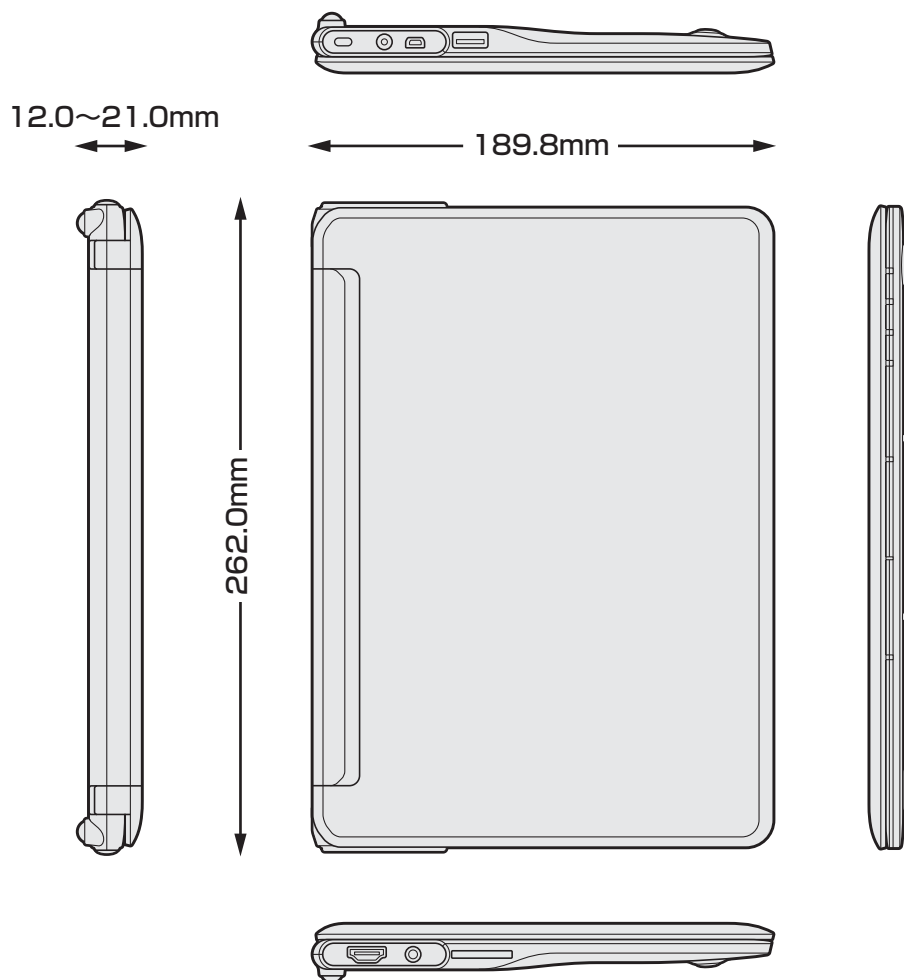
アメリカ	カザフスタン	スロベニア	パナマ	マケドニア
アイスランド	カナダ	セネガル	ハンガリー	マルタ
アイルランド	キプロス	台湾	フィンランド	モザンビーク
イエメン	ギリシャ	チェコ	プエルトリコ	モナコ
イギリス	グアテマラ	デンマーク	フランス	ラトビア
イタリア	コロンビア	ドイツ	ブルガリア	リトアニア
エストニア	ジンバブエ	ドミニカ	ベルギー	リヒテンシュタイン
エルサルバドル	スイス	トルコ	ポーランド	ルーマニア
オーストラリア	スウェーデン	ナイジェリア	ボリビア	ルクセンブルク
オーストリア	スペイン	日本	ポルトガル	レソト
オランダ	スリランカ	ニュージーランド	香港	
ガーナ	スロバキア	ノルウェー	ホンジュラス	

(2010年7月現在)

# 5

## 外形寸法図

\* 数値は突起部を含みません。



付録

# さくいん

## 英数字

Androidのセットアップ	26
Battery LED	15, 60
DC IN LED	15, 36
HDMI出力端子	14
Power LED	15, 36
TOSHIBA Service Station	29
USBコネクタ	15
Webカメラ	14

## あ行

オンラインマニュアル	51
------------	----

## か行

型番	16
キーボード	14

## さ行

サスペンド	33
システムインジケータ	14, 15
初期化	65
ステータスバーエリア	37, 38
スピーカー	16
製造番号	16
セキュリティロック・スロット	15

## た行

タッチパッド	15, 17
通知LED	14, 15
ディスプレイ	14
デスクトップエリア	37, 39
電源コネクタ	15
電源スイッチ	14

## な行

内蔵マイク	14
-------	----

## は行

バッテリー・リリースラッチ	16, 61
バッテリー安全ロック	16, 60
バッテリーパック	16, 59
バッテリーパックの交換	60
左ボタン	15, 17
ヒンジ	14
ブリッジメディアスロット	14
ホーム画面	37

## ま行

マイク入力端子／ヘッドホン出力端子	14
右ボタン	15, 17
ミニUSBコネクタ	15

## ら行

ランチャーエリア	37, 40
----------	--------

## わ行

ワイヤレスコミュニケーションLED	15
-------------------	----

# MEMO



A series of horizontal dashed lines for writing, with small fish icons at the ends of some lines.



# MEMO



A series of horizontal dashed lines for writing, organized into four groups. Each group consists of a top dashed line, a middle dashed line, and a bottom dashed line. The first group has a small gray fish icon at the start and end of the top line. The second group has a small gray fish icon at the start and end of the middle line. The third group has a small gray fish icon at the start and end of the bottom line. The fourth group has a small gray fish icon at the start and end of the bottom line.



# MEMO



A series of horizontal dashed lines for writing, with small fish icons at the ends of some lines.



# 初期化チェックシート

初期化は、本ページをコピーするなどして、次の項目を順番にチェックしながら実行してください。本ページに記載されている各チェック項目の詳細は、「4章 買ったときの状態に戻すには」で説明しています。

## 1 初期化をする前に確認すること

- 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認してみる
- 「5章 困ったときは」をご覧ください、ほかのトラブル解消方法を探してみる

## 2 初期化をはじめる前にしておくこと

- ①準備するもの
  - 『dynabookガイド』（本書）
  - この初期化チェックシートをコピーしたもの
- ②必要なデータのバックアップをとる

バックアップをとることができる場合は、とっておいてください。初期化をすると、購入後にインストールしたアプリケーションや各種設定はすべて消失します。また、初期化の方法によっては、購入後に作成したデータもすべて消失します。

本製品のバックアップツールを使用すると、アプリケーション領域内に保存されているお客様のデータを「内蔵ストレージ」フォルダーにzipファイルとして退避できます。

[設定] タブ→ [設定] → [プライバシー] → [設定とアプリケーションの保存と復元] の [データパーティションのバックアップ] を実行してください。

バックアップを実行した年月日時刻をファイル名にして、「内蔵ストレージ」フォルダーにzipファイルが1つ作られます。

このzipファイルには、次のデータが含まれています。

  - プラットフォームやアプリケーションのデータや設定
  - お客様がダウンロードなどして、本製品の購入後に追加したアプリケーション など

このzipファイルを含めて、「内蔵ストレージ」フォルダー内のすべてのファイルを外部記録メディアにコピーしてください。

**参照** ▶ バックアップについて《オンラインマニュアル》
- ③各種設定を確認する
- ④周辺機器をすべて取りはずす

## 3 初期化の流れ

初期化をする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

- ①初期化
- ②Androidのセットアップ
- ③周辺機器（マウス・キーボードなど）を取り付けて、設定する
- ④データの復元
- ⑤インターネットやメールの設定
- ⑥Androidおよびアプリケーションのアップデート

東芝PC総合情報サイト  
<http://dynabook.com/>

**東芝PCあんしんサポート**

技術的なご質問、お問い合わせ、修理のご依頼をお受けいたします。

全国共通電話番号 **0120-97-1048** (通話料・電話サポート料無料)

おかけいただくと、ガイダンスが流れます。  
ガイダンスに従ってご希望の窓口に該当する番号をプッシュしてください。

電話番号は、お間違えのないよう、ご確認の上おかけください。  
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直回収線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780 (通話料お客様負担) にお問い合わせください。

ご相談の内容により、別のサポート窓口をご案内する場合がございます。

技術相談窓口受付時間：9：00～19：00 (年中無休)

修理相談窓口受付時間：9：00～22：00 (年末年始12/31～1/3を除く)

▼インターネットで修理のお申し込み

[http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i\\_repair.htm](http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm)

お問い合わせの詳細につきましては、『サポートガイド』をご参照ください。

- ・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
  - ・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
  - ・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
- 東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

AZ/\*\*Mシリーズ

 **dynabook** dynabookガイド

平成22年7月16日

第1版発行

GX1C000T0110

発行 株式会社 **東芝** デジタルプロダクツ&ネットワーク社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1



# ローマ字／記号入力一覧表



あ	い	う	え	お
A	I	U	E	O
か	き	く	け	こ
KA	KI	KU	KE	KO
さ	し	す	せ	そ
SA	SI	SU	SE	SO
	SHI			
た	ち	つ	て	と
TA	TI	TU	TE	TO
	CHI	TSU		
な	に	ぬ	ね	の
NA	NI	NU	NE	NO
は	ひ	ふ	へ	ほ
HA	HI	HU	HE	HO
		FU		
ま	み	む	め	も
MA	MI	MU	ME	MO
や		ゆ		よ
YA		YU		YO
ら	り	る	れ	ろ
RA	RI	RU	RE	RO
わ	ゐ		ゑ	を
WA	I*		E*	WO
ん				
NN				
が	ぎ	ぐ	げ	ご
GA	GI	GU	GE	GO
ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
	JI			
だ	ぢ	づ	で	ど
DA	DI	DU	DE	DO
ば	び	ぶ	べ	ぼ
BA	BI	BU	BE	BO
ぼ	び	ぶ	べ	ぼ
PA	PI	PU	PE	PO
ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
VA*	VI*	VU	VE*	VO*

\*：英字を入力し、**[TAB]**キーを押してください。

## ● 小さい文字

あ	い	う	え	お
LA	LI	LU	LE	LO
XA	XI	XU	XE	XO
		っ		
		LTU		
		XTU		
や		ゆ		よ
LYA		LYU		LYO
XYA		XYU		XYO

うあ	うい		うえ	うお
WHA	WHI		WHE	WHO
ぎゃ	ぎい	きゅ	ぎえ	ぎょ
KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎょ
GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くあ	くい		くえ	くお
QA	QI		QE	QO
しゃ	しい	しゅ	しえ	しよ
SYA		SYU	SYE	SYO
SHA	SYI	SHU	SHE	SHO
じゃ	じい	じゅ	じえ	じょ
JYA		JYU	JYE	JYO
JA	JYI	JU	JE	JO
すあ	すい	すう	すえ	すお
SWA	SWI	SWU	SWE	SWO
ちゃ	ちい	ちゅ	ちえ	ちよ
TYA		TYU	TYE	TYO
CHA	TYI	CHU	CHE	CHO
ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢょ
DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
つあ	つい		つえ	つお
TSA	TSI		TSE	TSO
とあ	とい	とう	とえ	とお
TWA	TWI	TWU	TWE	TWO
にゃ	にい	にゅ	にえ	にょ
NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひい	ひゅ	ひえ	ひょ
HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ	びい	びゅ	びえ	びょ
BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴょ
PYA	PYI	PYU	PYE	PYO
ふあ	ふい	ふう	ふえ	ふお
FWA	FWI	FWU	FWE	FWO
FA	FI		FE	FO
みゃ	みい	みゅ	みえ	みょ
MYA	MYI	MYU	MYE	MYO

記号の中には読みを入力して**[SPACE]**キーを押すと変換できるものもあります。

## ■ 記号の入力

～	※	①②I II	♪	○◎●
から	こめじるし	いち、に…	おんぷ	まる
↑ ↓ ← →	ヶ	φ	□ ■	<b>[ ] &lt; &gt; 『 』</b>
やじるし	け	ふあい	しかく	かっこ
×	☆★	(^^) など各種顔文字		
かける	ほし	かお		
〒	÷			
ゆうびん	わる			



株式会社 **東芝** デジタルプロダクツ&ネットワーク社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1



この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。  
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

GX1C000T0110  
Printed in China